

平成 26 年度
栃木県観光動態調査

報告書(概要版)

平成 27 年 3 月

栃木県産業労働観光部観光交流課

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的及び方法	1
2 報告書の見方	3
第2章 国内観光客調査 調査結果	6
1 日帰り客	6
2 宿泊客	20
第3章 訪県外国人調査 調査結果	36

第1章 調査の概要

1 調査の目的及び方法

(1) 調査目的

栃木県を訪れる旅行者の流動実態について、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」、「観光入込客統計に関する共通基準調査要領」等に基づき、栃木県を訪れる観光客に対するアンケートを行い、栃木県の観光実態を把握し、観光動向を分析する。

(2) 調査概要

① 国内観光客調査

ア. 観光地点調査

調査手法：県内の観光地点（15カ所）にて調査員が聞き取り（土日祝日から1日）

調査地点：

那須エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅那須高原友愛の森 ・那須ガーデンアウトレット ・アグリパル塩原 	計3カ所
日光エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・日光東照宮 ・華厳ノ滝 ・東武ワールドスクエア 	計3カ所
県央エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅うつのみや ろまんちっく村 ・道の駅きつれがわ ・那珂川町馬頭広重美術館 及び 道の駅ばとう 	計3カ所
県東エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅もてぎ ・陶芸メッセ益子 ・道の駅はが 	計3カ所
県南エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・足利学校 ・佐野プレミアムアウトレット ・とちぎ山車会館 	計3カ所

調査時期：第1回 平成26年6月

第2回 平成26年9月

第3回 平成26年11月

第4回 平成27年1月/2月

2 報告書の見方

本調査では、構成比などの数値は、原則として単位未満四捨五入で表記しており、合計や積算などの計算値は、紙面上に表記された数値による計算値と一致しないことがある。

なお、件数が0件の項目については、グラフ上は非表示とする。

国内観光客調査

(1) 調査地域区分

今回の調査では、調査対象の観光地点および宿泊施設の地域を以下のとおり区分した。

- ・観光地点調査 那須、日光、県央、県東、県南の5エリア
- ・宿泊施設調査 日光、日光湯元、鬼怒川・川治、湯西川、那須、塩原、宇都宮の7エリア

なお、観光地点調査の各観光地点に対する周辺地域の考え方は表1のとおり。

※表1 観光地点調査における調査地点と周辺地域の考え方

エリア	観光地点名	左記の観光地点に係る周辺地域の範囲
那須エリア	① 道の駅那須高原友愛の森	那須町
	② 那須ガーデンアウトレット	那須塩原市
	③ アグリパル塩原	
日光エリア	④ 日光東照宮	日光市
	⑤ 華厳ノ滝	
	⑥ 東武ワールドスクウェア	
県央エリア	⑦ 道の駅うつのみや ろまんちっく村	宇都宮市
	⑧ 道の駅きつれがわ	さくら市、高根沢町、那珂川町、那須烏山市
	⑨ 那珂川町馬頭広重美術館 道の駅ばとう	那珂川町、那須烏山市
県東エリア	⑩ 道の駅もてぎ	真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町
	⑪ 陶芸メッセ益子	益子町
	⑫ 道の駅はが	真岡市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町
県南エリア	⑬ 史跡足利学校	足利市
	⑭ 佐野プレミアム・アウトレット	佐野市
	⑮ とちぎ山車会館	栃木市

(2) 報告書掲載項目

「日帰り客」「宿泊客」別にそれぞれ調査結果を掲載。

《調査結果の掲載項目》	
<p>1. 日帰り客</p> <p>お住まい 性別・年代 旅行の主要目的 栃木県での滞在時間 旅行先に選んだ理由(複数回答) 同行人数※回答者を含む 同行者の関係 県外客の栃木県への来訪回数 県内客の調査地域周辺への来訪回数 県外客の調査地域周辺への来訪回数 利用交通機関(複数回答) 立ち寄り観光施設数 旅行先に選んだ情報源(複数回答) 消費支出(平均) 調査地域の総合期待度／総合満足度 ／再来訪意向／紹介意向</p>	<p>2. 宿泊客</p> <p>お住まい 性別・年代 旅行の主要目的 宿泊旅程 栃木県内での宿泊日数 栃木県内の宿泊施設数 旅行先に選んだ理由(複数回答) 同行人数※回答者を含む 同行者の関係 県外客の栃木県への来訪回数 県外客の調査地域周辺への来訪回数 利用交通機関(複数回答) 立ち寄り観光施設数 旅行先に選んだ情報源(複数回答) 消費支出(平均) 調査地域の総合期待度／総合満足度 ／再来訪意向／紹介意向</p>

今回の調査で聴取した設問項目について、その集計方法は以下のとおり。

なお、観光地点調査でご回答頂けなかったもの、もしくは分からないと回答頂いたものを「不明」、宿泊施設調査でご回答頂けなかったものを「無回答」とし、本報告書ではこの「不明」と「無回答」の2区分が加わっている場合がある。

＜集計方法＞

1. 日帰り客

観光地点調査の「日帰り客」を集計している。

2. 宿泊客

宿泊施設調査を基本としながら、一部の設問では、観光地点調査の宿泊客を合算して集計している。

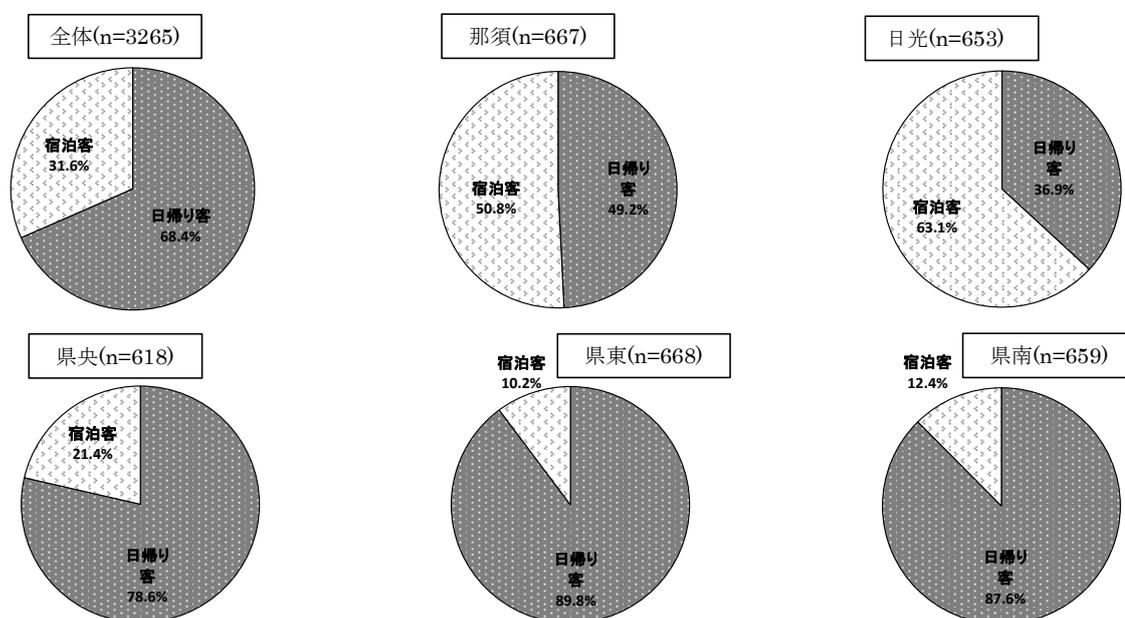
	県全体	エリア別
観光地点調査(宿泊客)	一部対象	対象外
宿泊施設調査	対象	対象

サンプル数一覧

それぞれの集計対象のサンプル数は、以下のとおり。

調査区分	アンケート回答 状況	集計区分			
		日帰り客		宿泊客	
		県全体/ エリアごと/エリア比較	県全体	エリアごと/エリア比較	
観光 調査 地点	那須	667	328	339	—
	日光	653	241	412	—
	県央	618	486	132	—
	県東	668	600	68	—
	県南	659	577	82	—
計(A)		3265	2232	1033	—
宿泊 施設 調査	日光	128	—	128	128
	日光湯元	154	—	154	154
	鬼怒川・川治	119	—	119	119
	湯西川	237	—	237	237
	那須	420	—	420	420
	塩原	210	—	210	210
	宇都宮	147	—	147	147
計(B)		1415	—	1415	1415
合計(C=A+B)		4680	2232	2448	1415

《参考》 観光地点調査における「日帰り」「宿泊」の割合



訪県外国人調査

(1) 報告書掲載項目

調査結果の掲載項目は以下のとおり。

- 国籍・性別・年代
- 滞在時間・地域別
- 日光での宿泊・地域別
- 日本での宿泊地(複数回答)
- 訪日回数・地域別
- 日光エリアへの訪問回数・地域別
- 日光エリア訪問時の情報源(複数回答)
- 日光エリアへの訪問を決めた一番の目的・地域別
- 日光エリアですること/したいこと・地域別
- 日光エリアで観光しての満足度
- 項目別満足度の比較

第2章 国内観光客調査 調査結果

日帰り客

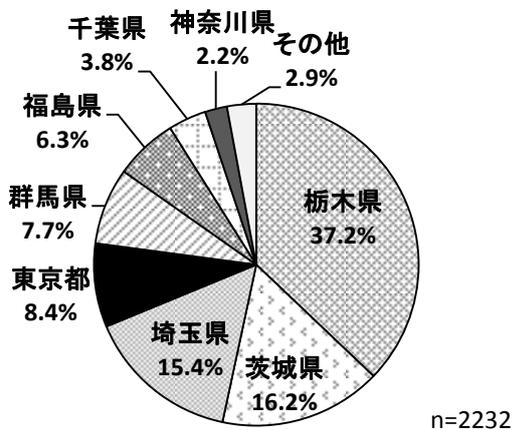
お住まい

「栃木県（県内居住者）」が最も多く約4割を占める。5エリアのうち3エリアで県内居住者の割合が最も多い。

お住まいは、県全体では、「栃木県」が最も多く37.2%。次いで「茨城県(16.2%)」「埼玉県(15.4%)」となっている。

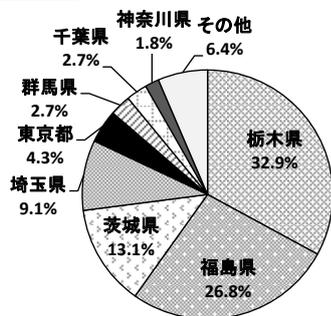
またエリアごとにみると、県央において県内居住者が62.1%と最も多く、県東でも県内居住者が約半数。那須においても県内居住者が32.9%と最も多くなっている。日光では「東京都」が21.2%と最も多く、次いで「埼玉県(19.9%)」となっている。県南では「埼玉県」が30.8%と最も多く、次いで「群馬県(19.4%)」となっている。

【県全体】

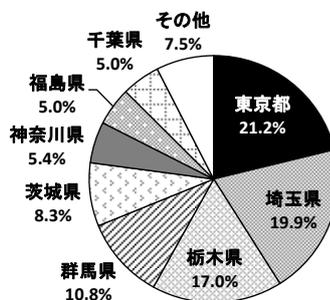


【エリア別】

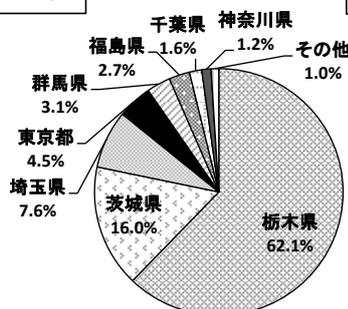
那須(n=328)



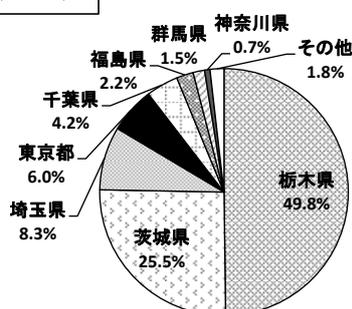
日光(n=241)



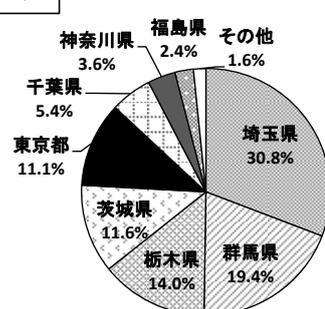
県央(n=486)



県東(n=600)



県南(n=577)



性別・年代

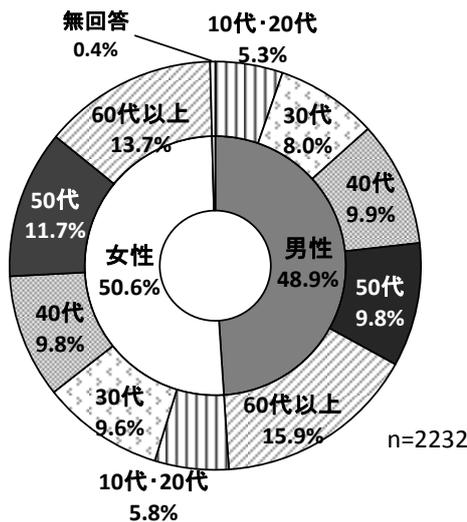
性別は、男女ほぼ半数ずつ。年代は、「60代以上」が最も多く約3割。次いで「50代」「40代」とシニア層の割合が高い。

県全体では、性別は、男女ほぼ半数ずつ。年代は、「60代以上」が最も多く29.6%。次いで「50代(21.5%)」「40代(19.7%)」とシニア層の割合が高い。

またエリアごとにもみると、性別は、日光で男性がやや多く、県南で女性がやや多い。

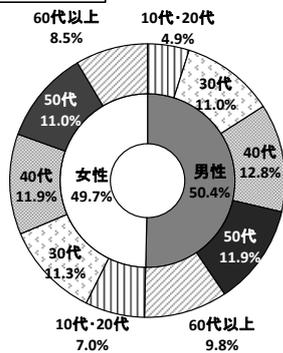
年代は、「60代以上」が県央(38.9%)、県東(39.3%)で多い。「10代・20代」が日光(20.8%)で他のエリアに比べて多い。

【県全体】

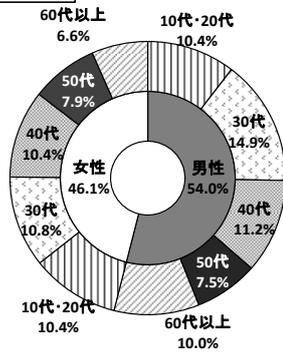


【エリア別】

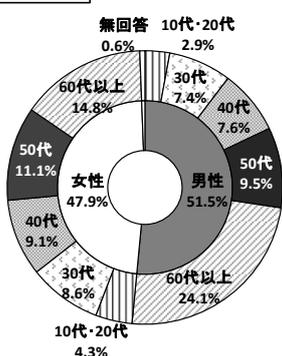
那須(n=328)



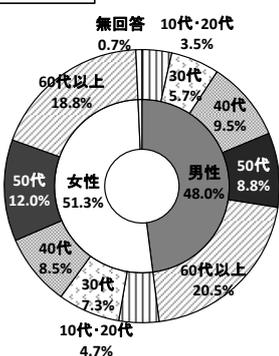
日光(n=241)



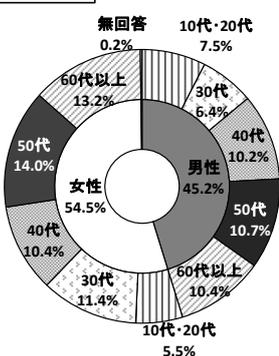
県央(n=486)



県東(n=600)



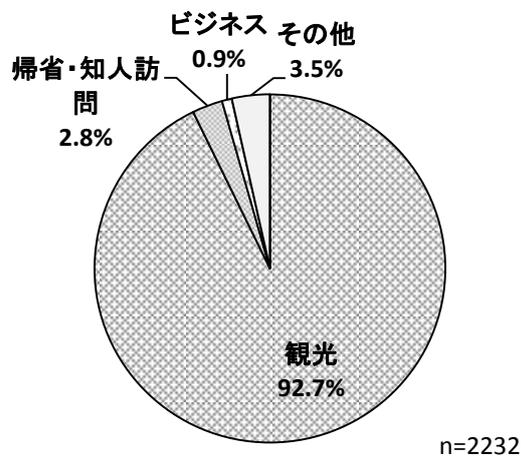
県南(n=577)



旅行の主要目的

「観光」が9割超。

【県全体】



栃木県での滞在時間

「2時間以上4時間未満」が最も多く3割超。平均滞在時間は、3時間58分。

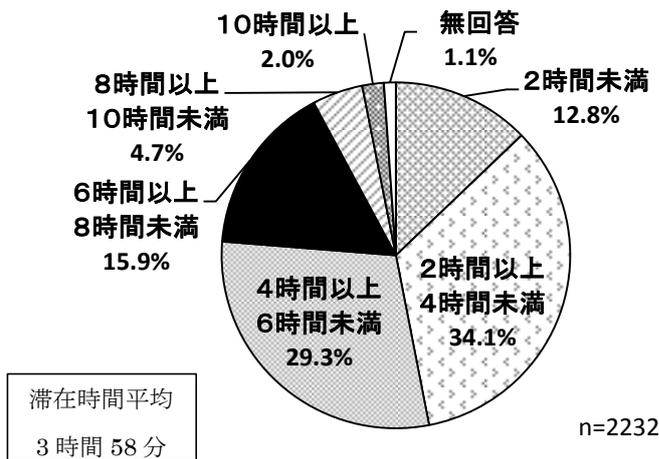
栃木県での滞在時間は、県全体では、「2時間以上4時間未満(34.1%)」が最も多く、次いで「4時間以上6時間未満(29.3%)」となり、2時間以上6時間未満で63.4%となる。平均滞在時間は、3時間58分。

またエリアごとにみると、日光が最も長く平均5時間1分で、県東が最も短く平均3時間20分。

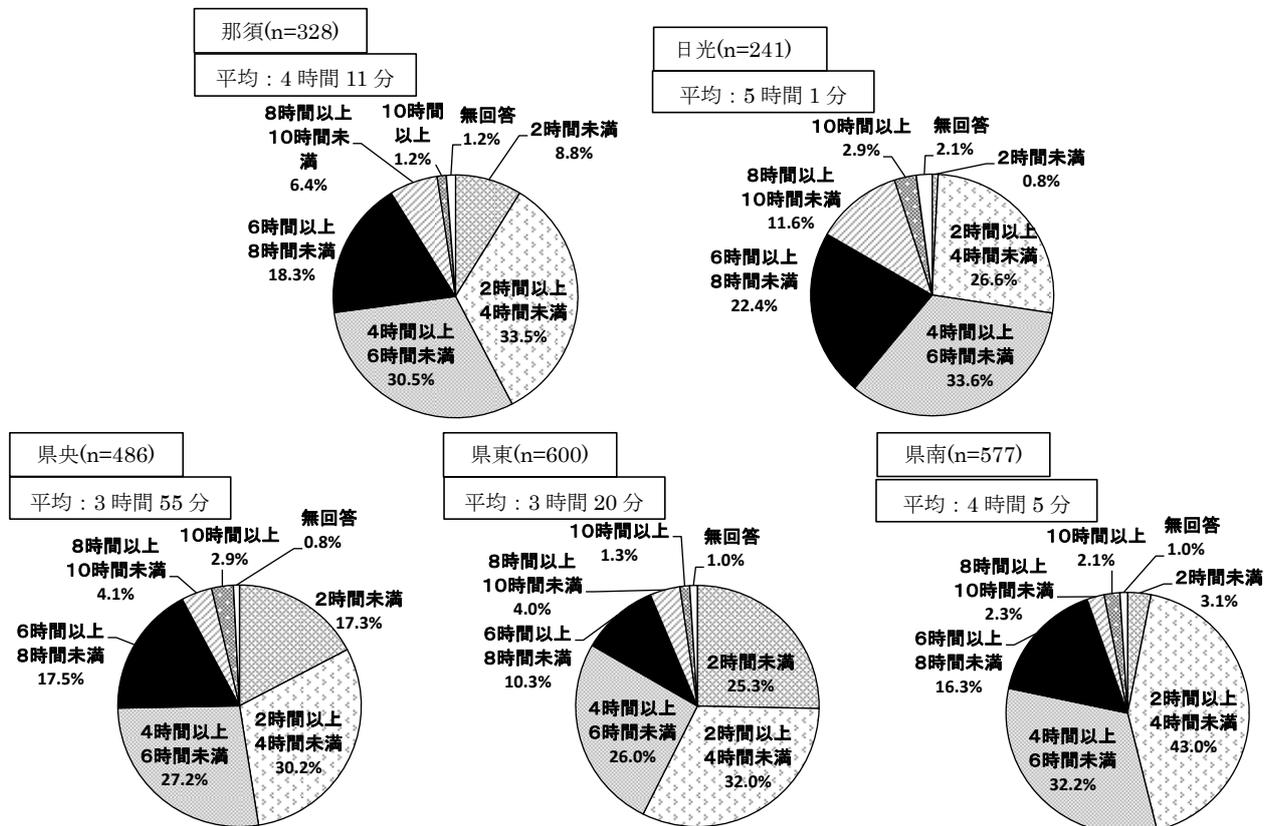
「2時間未満」が県東(25.3%)で他のエリアに比べて多い。

「8時間以上10時間未満」が日光(11.6%)で他のエリアに比べて多い。

【県全体】



【エリア別】



旅行先を選んだ理由(複数回答)

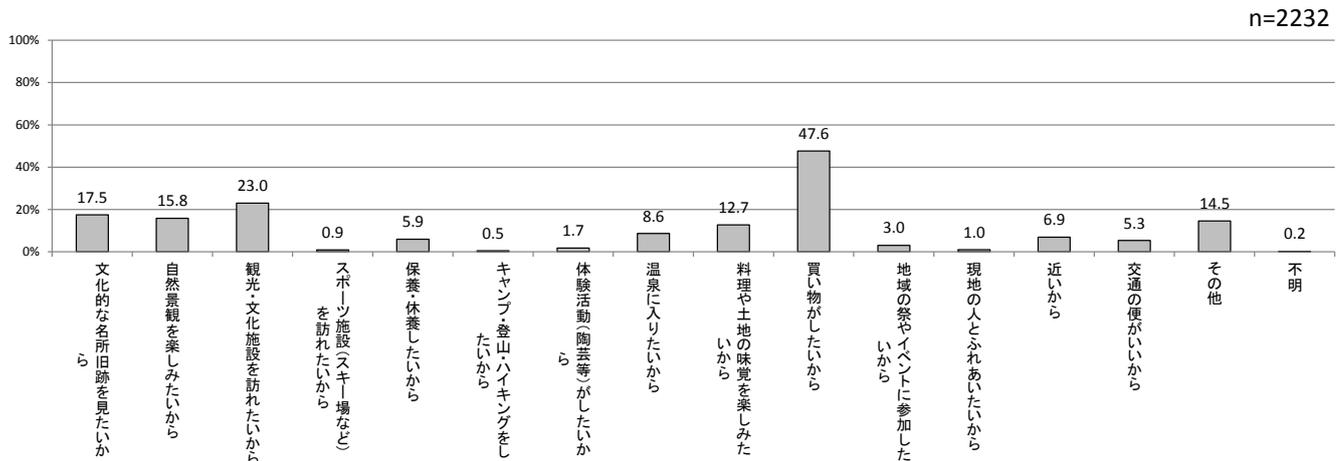
「買い物がしたいから」が最も多く約5割。

那須、県央、県東、県南では「買い物」の割合が多く、日光は「観光・文化施設」の割合が多い。

旅行先を選んだ理由は、県全体では、「買い物がしたいから」が最も多く47.6%。次いで「観光・文化施設を訪れたいから(23.0%)」「文化的な名所旧跡を見たいから(17.5%)」「自然景観を楽しみたいから(15.8%)」となっている。

またエリアごとにみると、「買い物」が那須(61.9%)、県央(46.7%)、県東(64.8%)、県南(41.4%)それぞれのエリアで最も多い。日光では「観光・文化施設」が54.4%と最も多くなっている。

【県全体】



【エリア別】 ※上位5位

No.	全体(n=2232)	那須(n=328)	日光(n=241)
1	買い物(47.6%)	買い物(61.9%)	観光・文化施設(54.4%)
2	観光・文化施設(23.0%)	観光・文化施設(18.9%)	名所旧跡(43.6%)
3	名所旧跡(17.5%)	自然景観(18.0%)	自然景観(41.9%)
4	自然景観(15.8%)	温泉(9.5%)	温泉(7.1%)
5	料理や土地の味覚(12.7%)	近いから(8.8%)	近いから(6.2%)

No.	県央(n=486)	県東(n=600)	県南(n=577)
1	買い物(46.7%)	買い物(64.8%)	買い物(41.4%)
2	温泉(19.5%)	料理や土地の味覚(23.0%)	名所旧跡(40.4%)
3	観光・文化施設(18.3%)	観光・文化施設(11.0%)	観光・文化施設(28.8%)
4	料理や土地の味覚(16.5%)	自然景観(10.2%)	自然景観(11.8%)
5	自然景観(13.2%)	近いから(8.8%)	料理や土地の味覚(4.7%)

※「その他」「不明」を除く

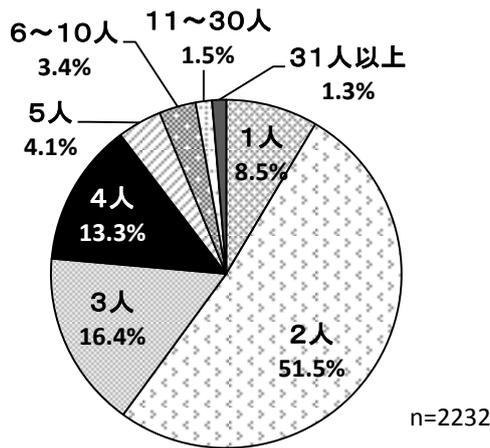
同行人数※回答者を含む

「2人」が最も多く5割超。全てのエリアで「2人」が最も多い。

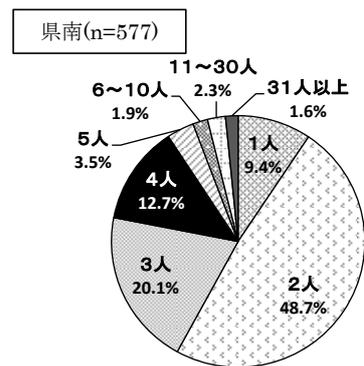
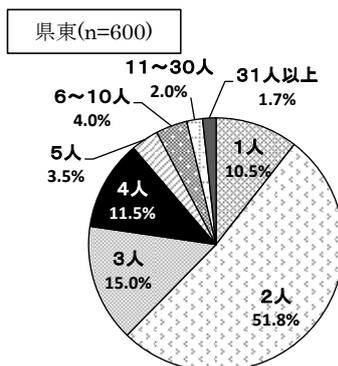
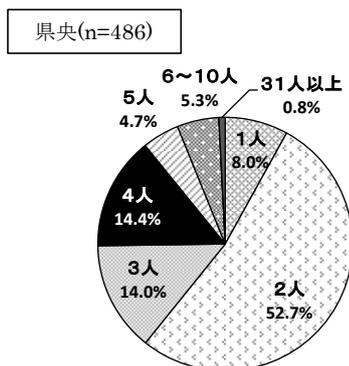
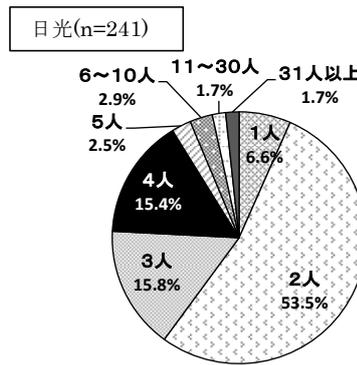
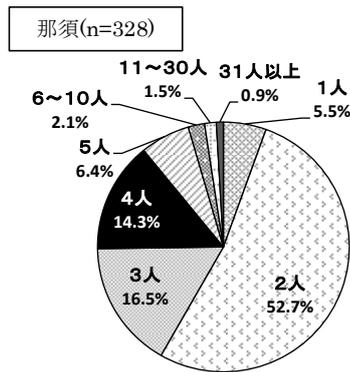
回答者を含む同行人数は、県全体では、「2人」が最も多く51.5%。次いで「3人(16.4%)」「4人(13.3%)」となっている。

またエリアごとに見ると、全てのエリアで「2人」が最も多く約半数。「5人」が那須(6.4%)で他のエリアに比べてやや多い。

【県全体】



【エリア別】



同行者の関係

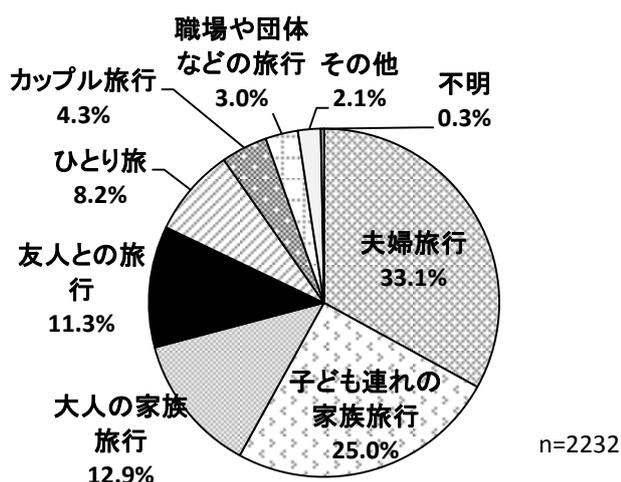
「夫婦旅行」が最も多く3割超。日光、県央、県東、県南では「夫婦旅行」の割合が多く、那須は「子ども連れの家族旅行」の割合が多い。

同行者の関係は、県全体では、「夫婦旅行」が最も多く33.1%。次いで「子ども連れの家族旅行」(25.0%)、「大人の家族旅行」(12.9%)、「友人との旅行」(11.3%)となっている。

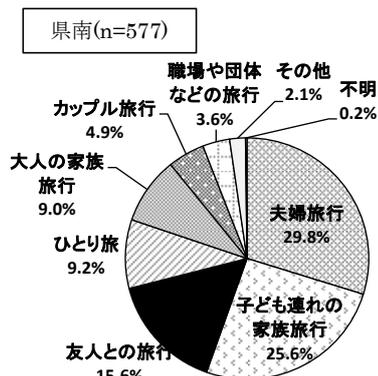
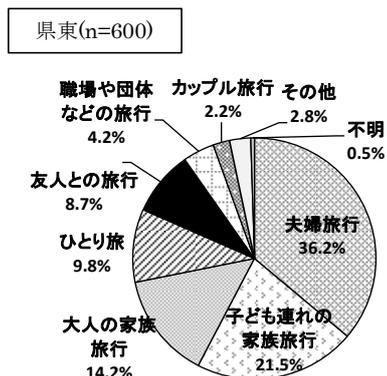
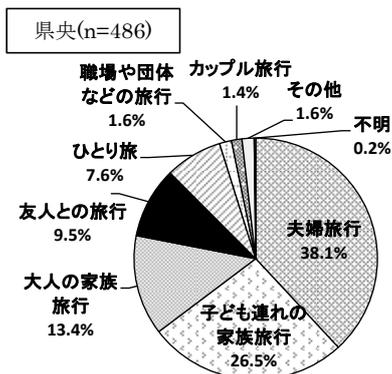
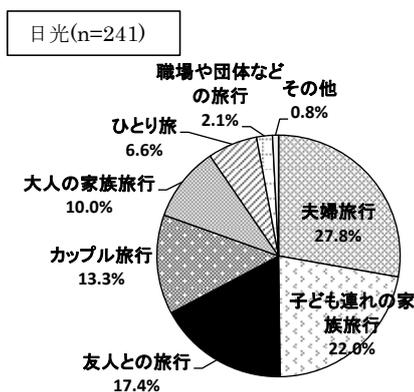
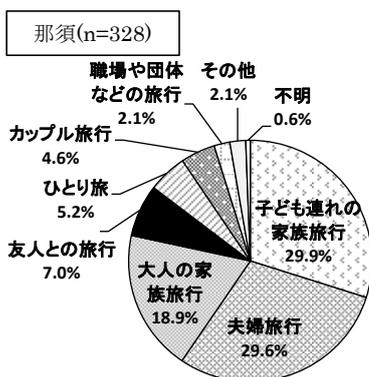
またエリアごとにみると、「夫婦旅行」が日光(27.8%)、県央(38.1%)、県東(36.2%)、県南(29.8%)で最も多い。「子ども連れの家族旅行」が那須(29.9%)で最も多い。

「カップル旅行」が日光(13.3%)で他のエリアに比べて多い。

【県全体】



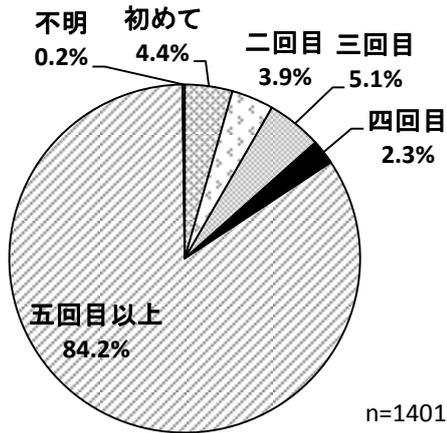
【エリア別】



県外客の栃木県への来訪回数

「五回目以上」が8割超。「初めて」は4.4%。

【県全体】



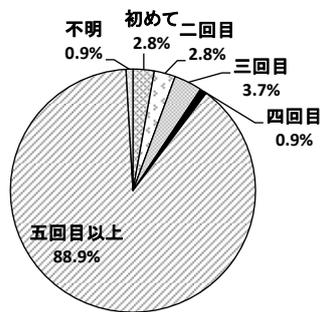
県内客の調査地域周辺への来訪回数

全てのエリアで「五回目以上」が最も多く、那須、県央、県東ではその割合が4分の3を超える。

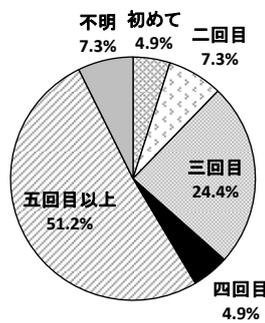
県内客の調査地域周辺への来訪回数は、全てのエリアで「五回目以上」が最も多い。中でも、那須（88.9%）、県央（75.2%）、県東（82.3%）で多く4分の3を超える。「初めて」が県南（17.3%）で他のエリアに比べて多い。

【エリア別】

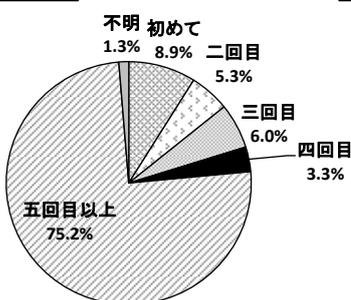
那須(n=108)



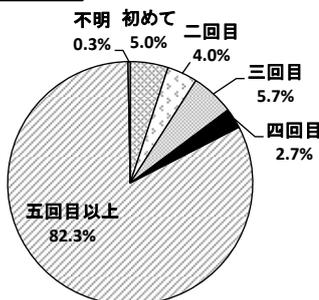
日光(n=41)



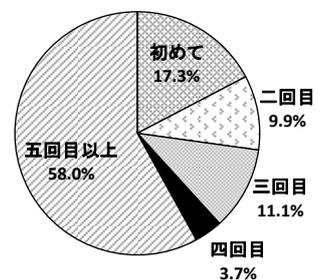
県央(n=302)



県東(n=299)



県南(n=81)

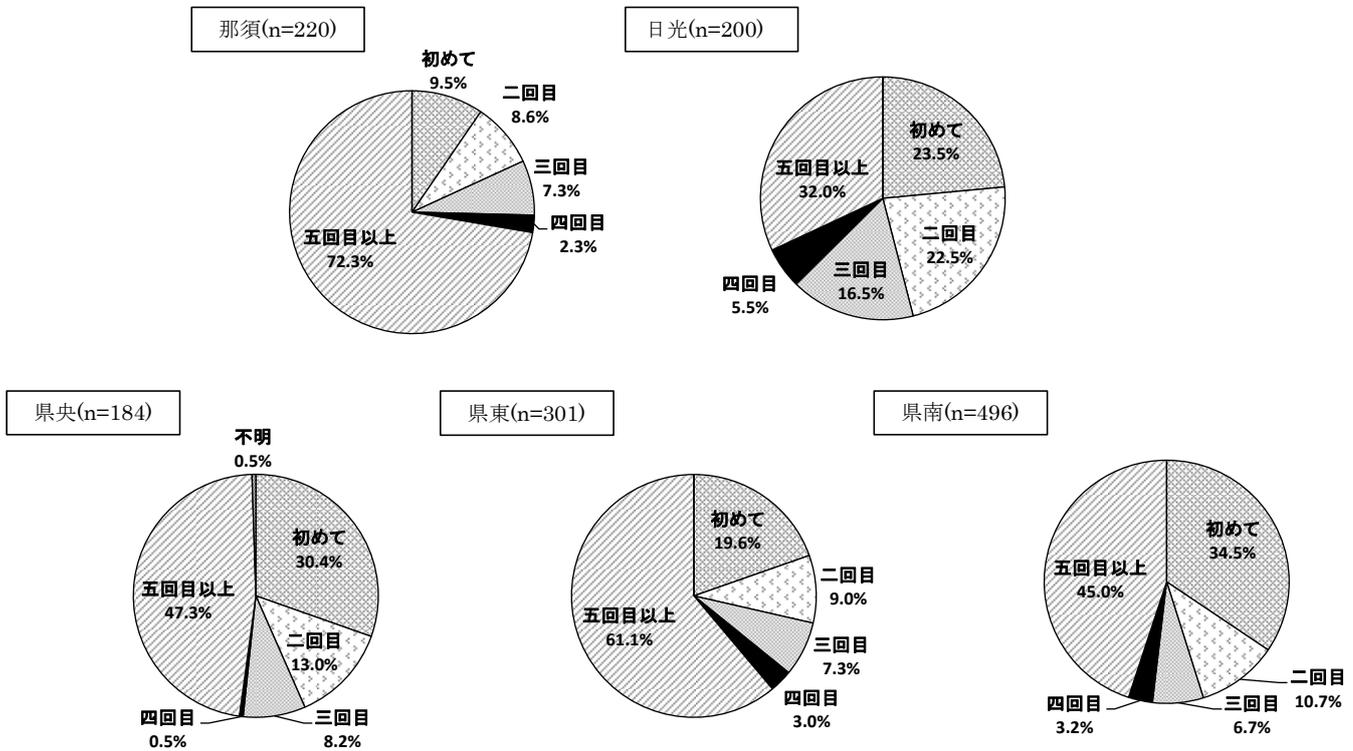


県外客の調査地域周辺への来訪回数

全てのエリアで「五回目以上」が最も多い。那須（72.3%）では7割を超える。

県外客の調査地域周辺への来訪回数は、全てのエリアで「五回目以上」が最も多い。中でも、那須（72.3%）で多く7割を超える。「初めて」が県央（30.4%）、県南（34.5%）で他のエリアに比べて多い。

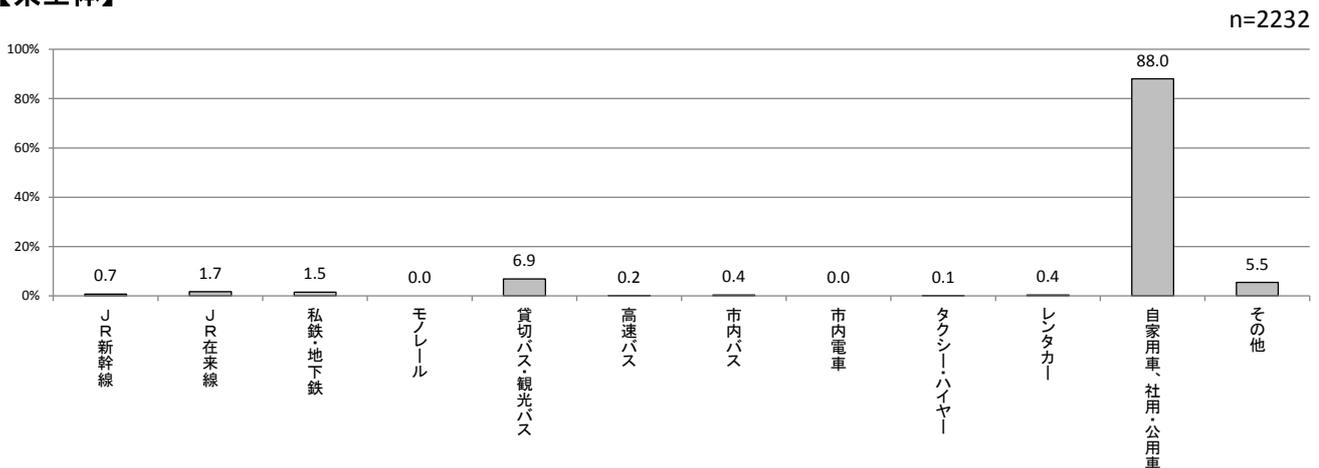
【エリア別】



利用交通機関（複数回答）

「自家用車、社用・公用車」が9割弱。

【県全体】



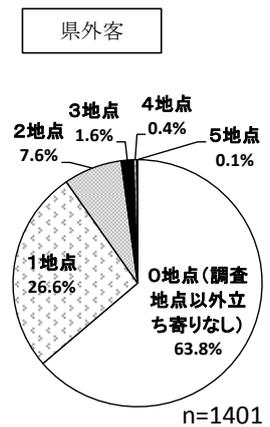
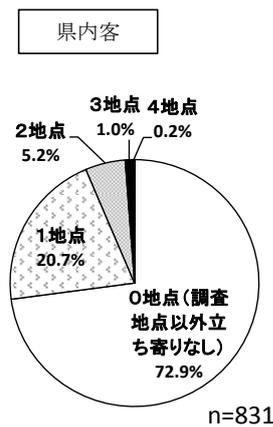
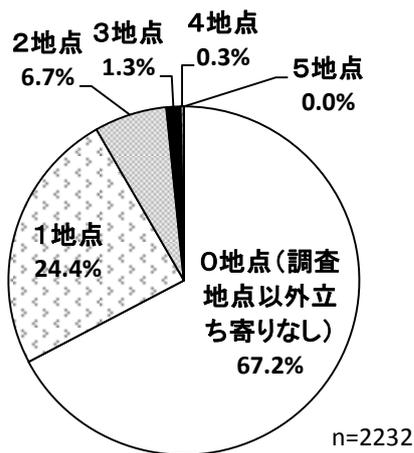
立ち寄り観光施設数

全てのエリアで「調査地点以外立ち寄りなし」が最も多く、調査地点も含め、立ち寄り観光施設数は1地点～2地点で約9割。

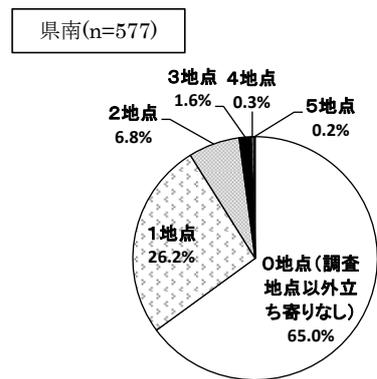
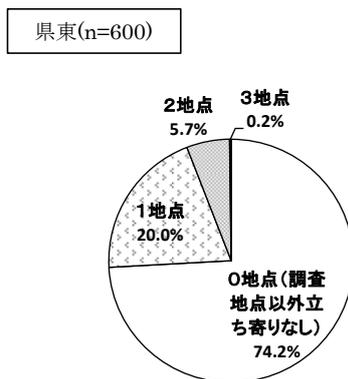
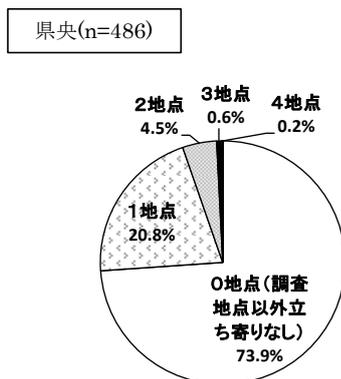
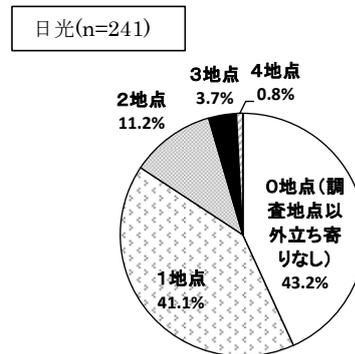
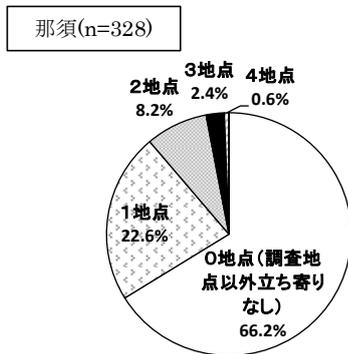
立ち寄り観光施設数は、県全体では、「0地点（調査地点以外立ち寄りなし）」が67.2%と最も多く、次いで「1地点」が24.4%となっている。調査地点も含め、1地点～2地点で約9割を占める。

またエリアごとにみると、全てのエリアで「0地点（調査地点以外立ち寄りなし）」が最も多い。「1地点」が日光（41.1%）で他のエリアに比べて多い。

【県全体】



【エリア別】



旅行先に選んだ情報源(複数回答)

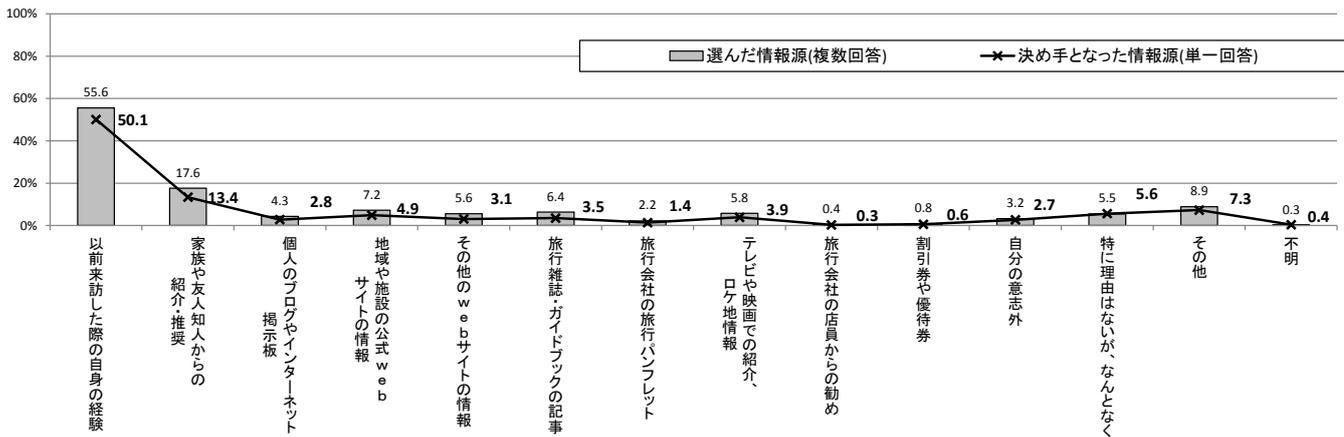
“決め手”となった情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く約5割。

旅行先に選んだ情報源は、県全体では、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く55.6%。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨(17.6%)」となっている。

“決め手”となった情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く50.1%。次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨(13.4%)」となっている。

【県全体】

n=2232



【年代別】 ※上位5位

No.	全体(n=2232)	No.	10・20代(n=248)
1	以前来訪した際の自身の経験(50.1%)	1	以前来訪した際の自身の経験(36.7%)
2	家族や友人知人からの紹介・推奨(13.4%)	2	家族や友人知人からの紹介・推奨(21.8%)
3	特に理由はないが、なんとなく(5.6%)	3	地域や施設の公式webサイトの情報(7.7%)
4	地域や施設の公式webサイトの情報(4.9%)	4	特に理由はないが、なんとなく(6.9%)
5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報(3.9%)	5	旅行雑誌・ガイドブックの記事(5.2%)

No.	30代(n=394)	No.	40代(n=443)
1	以前来訪した際の自身の経験(47.5%)	1	以前来訪した際の自身の経験(49.2%)
2	家族や友人知人からの紹介・推奨(13.7%)	2	家族や友人知人からの紹介・推奨(9.7%)
3	特に理由はないが、なんとなく(7.4%)	3	地域や施設の公式webサイトの情報(7.0%)
4	地域や施設の公式webサイトの情報(6.9%)	4	特に理由はないが、なんとなく(6.5%)
5	その他のwebサイトの情報(4.6%)	5	その他のwebサイトの情報(5.4%)

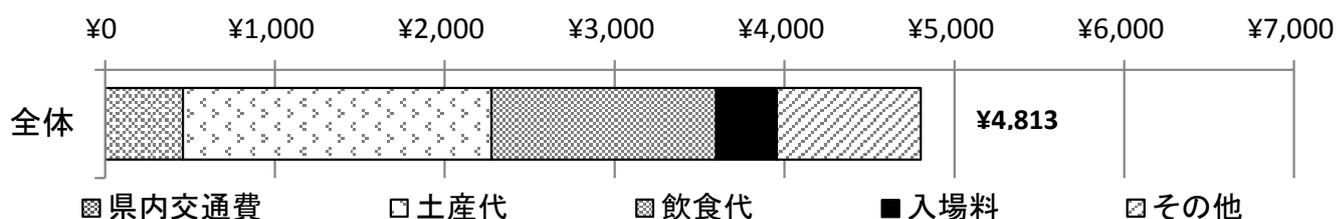
No.	50代(n=480)	No.	60代以上(n=663)
1	以前来訪した際の自身の経験(50.6%)	1	以前来訪した際の自身の経験(57.0%)
2	家族や友人知人からの紹介・推奨(15.4%)	2	家族や友人知人からの紹介・推奨(11.3%)
3	地域や施設の公式webサイトの情報(4.4%)	3	自分の意志外(4.5%)
4	特に理由はないが、なんとなく(4.4%)	4	特に理由はないが、なんとなく(4.2%)
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事(3.5%)	5	テレビや映画での紹介、ロケ地情報(4.1%)

消費支出（平均）

日帰り客一人当たりの消費支出の平均は、総額で4,813円。
 那須、日光で消費支出の総額が高い。

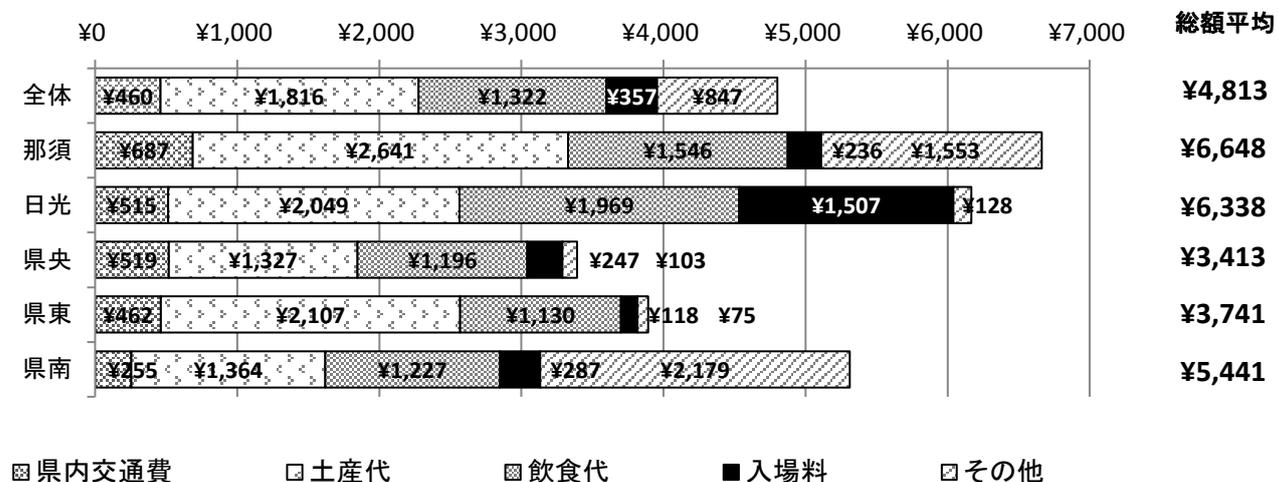
日帰り客一人当たりの消費支出の平均は、県全体では、総額で4,813円。
 内訳は、「土産代」が最も高く1,816円。次いで「飲食代（1,322円）」となっている。
 またエリアごとにもみると、消費支出は、総額が那須（6,648円）、日光（6,338円）で他のエリアに比べて高い。
 内訳は、「入場料」が日光（1,507円）で他のエリアに比べて高い。「その他」が那須（1,553円）、県南（2,179円）で他のエリアに比べて高い。

【県全体】



総額 (n=2118)	県内交通費 (n=2229)	土産代 (n=2222)	飲食代 (n=2225)	入場料 (n=2231)	その他 (n=2230)
¥4,813	¥460	¥1,816	¥1,322	¥357	¥847

【エリア別】



調査地域の総合期待度／総合満足度／再来訪意向／紹介意向

総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせて約9割。

県全体では、調査地域への期待度は、「大いに期待していた」と「やや期待していた」をあわせて77.6%であったのに対し、総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせて87.3%となった。

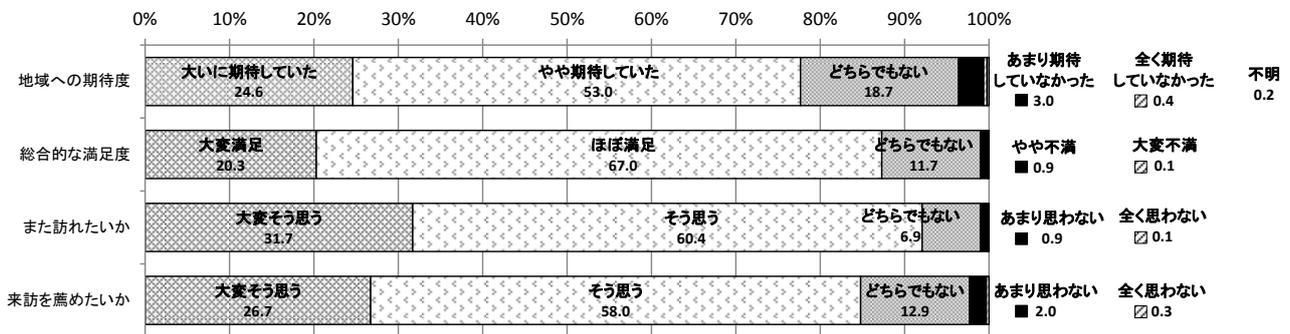
また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせて92.1%と9割を超える。

来訪を薦めたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせて84.7%と8割を超える。

またエリアごとにみると、総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が、すべてのエリアで8割を超える。

また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が、すべてのエリアで8割を超えた。

【県全体】



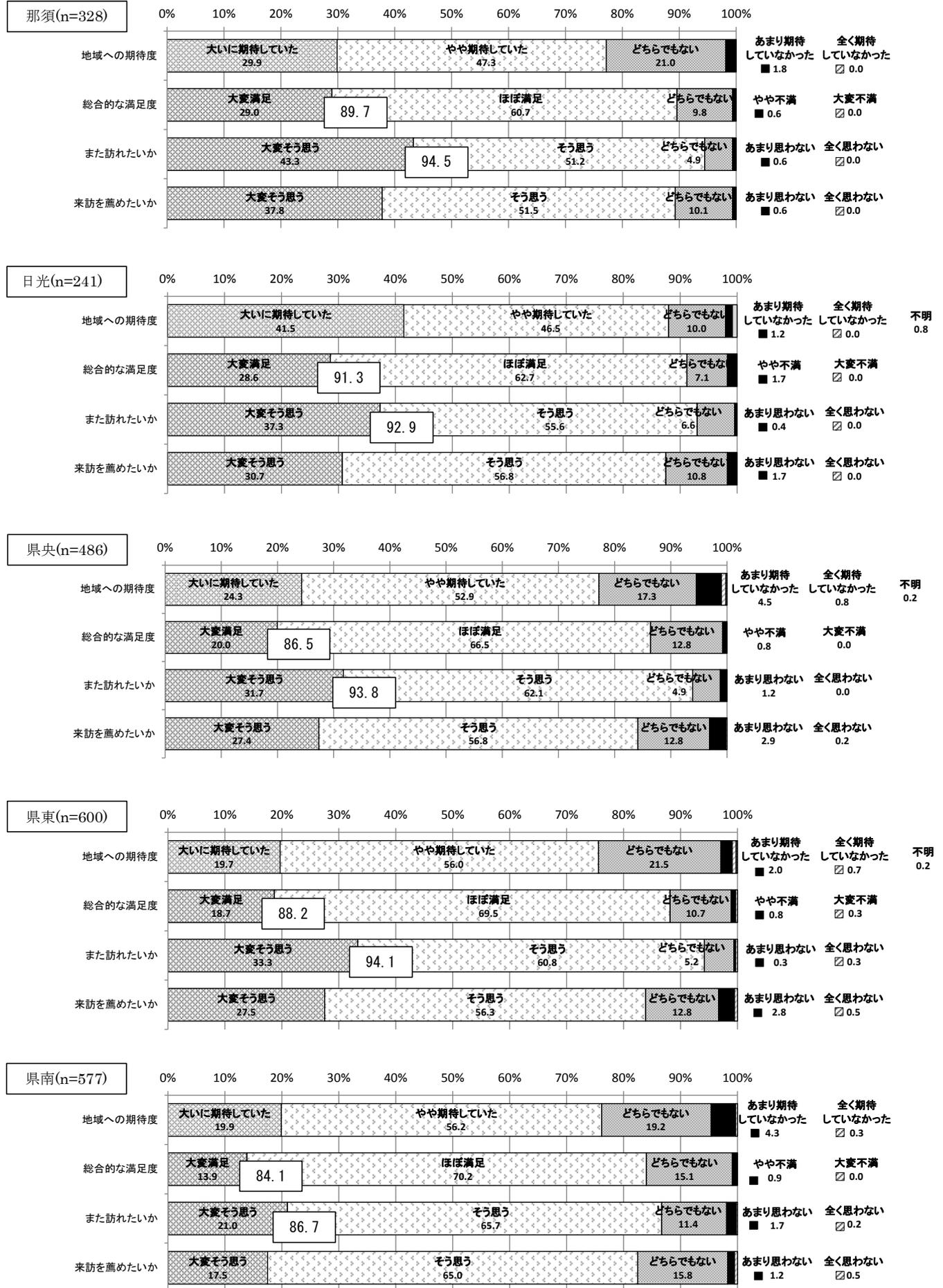
n=2232

加重平均値

地域への期待度	総合的な満足度	また訪れたいか	来訪を薦めたいか
0.98	1.06	1.23	1.09

加重平均：肯定意見「大いに（大変）～」を+2、「やや（ほぼ）～」を+1に、中間意見を「どちらでもない」を0、否定意見「あまり（やや）～ない」を-1、「全く（大変）～ない」を-2に置き換えて算出した平均値で、+の数値で肯定的、-の数値で否定的な度合となる。

【エリア別】



※口内の数字は、「大満足」と「ほぼ満足」または「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた数。

宿泊客 (宿+地点) は宿泊施設調査及び観光地点調査のうちの宿泊者の回答を合計

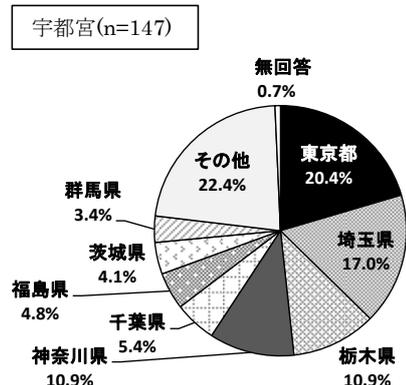
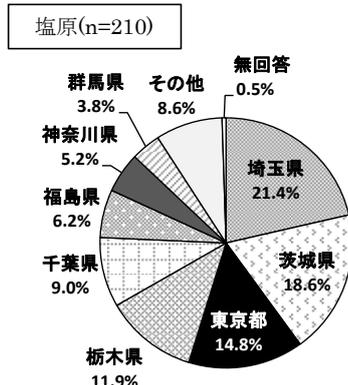
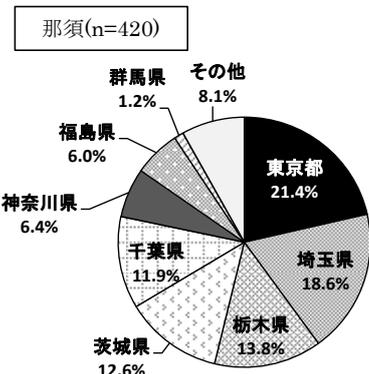
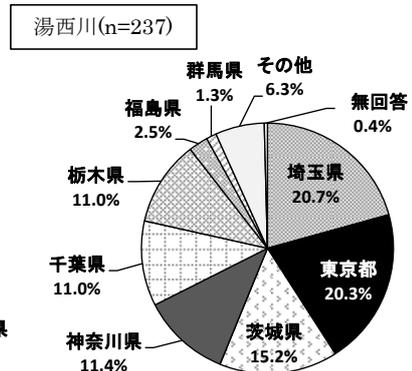
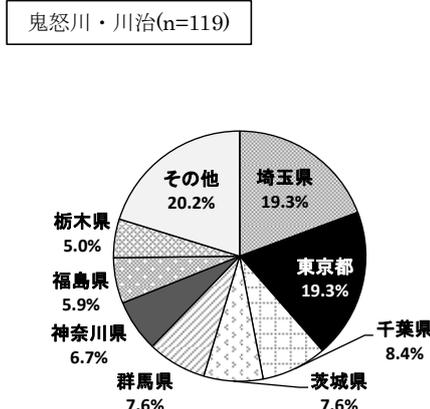
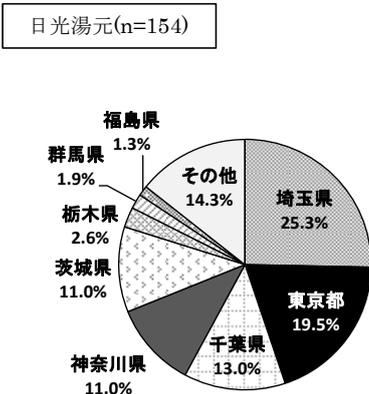
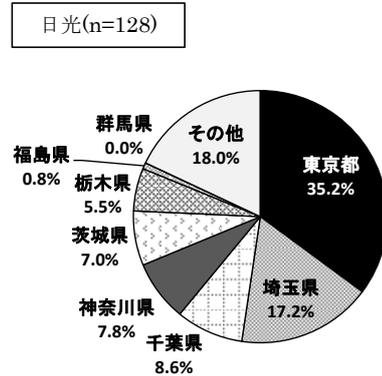
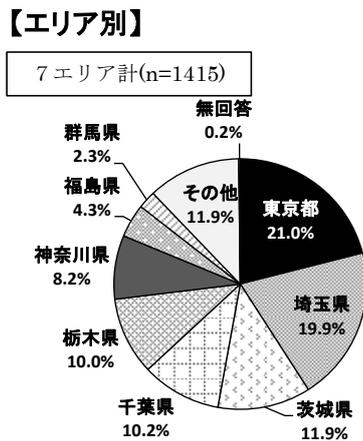
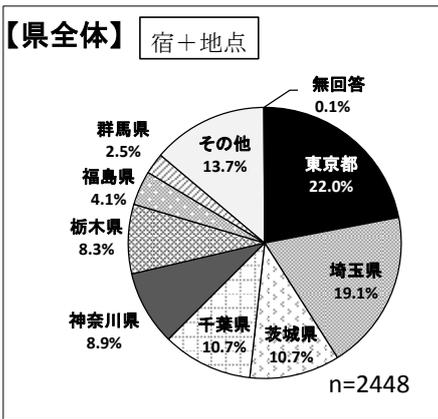
お住まい

「東京都」が最も多く2割超。次いで「埼玉県」。

お住まいは、県全体では、「東京都」が最も多く22.0%。次いで「埼玉県(19.1%)」となっている。

エリアごとにみると、日光は「東京都」が35.2%と最も多い。

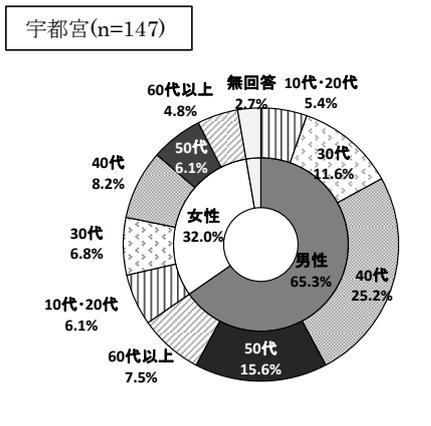
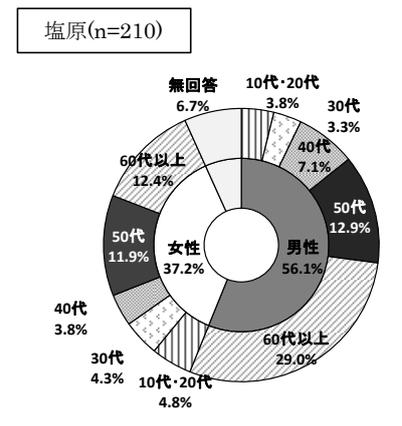
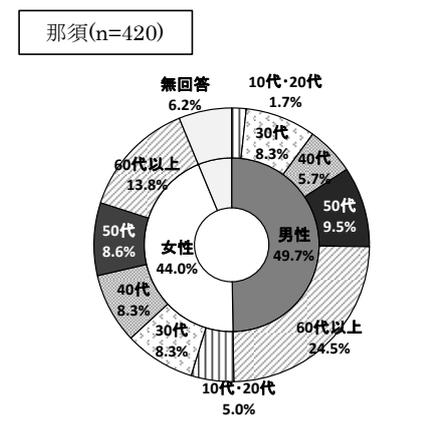
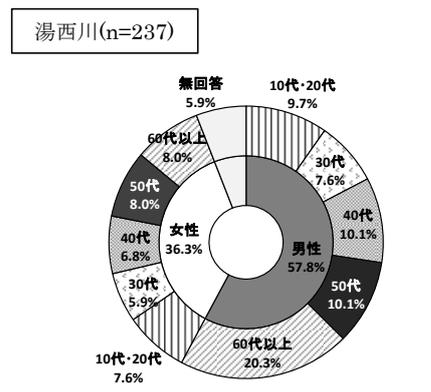
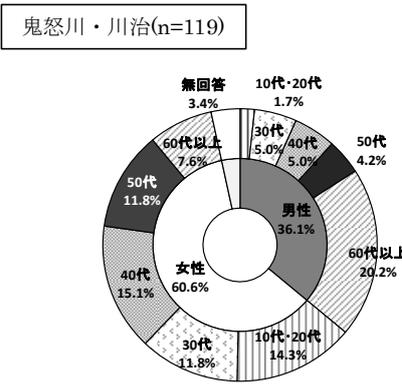
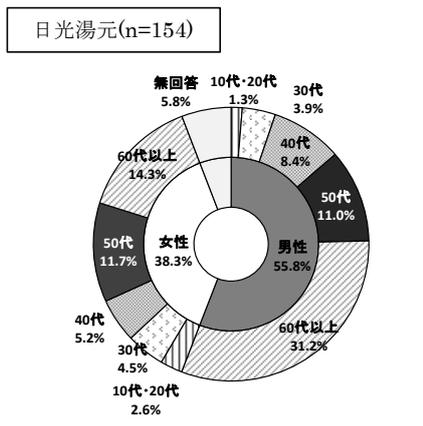
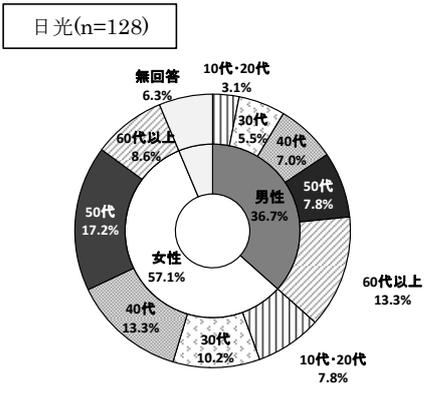
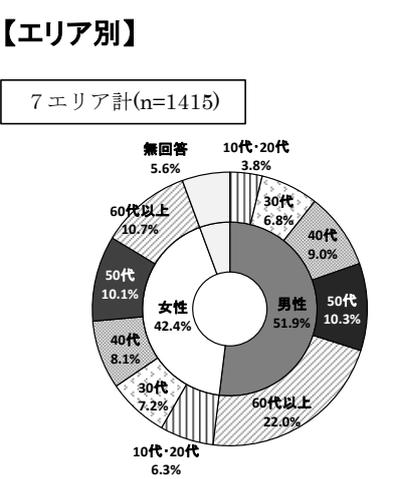
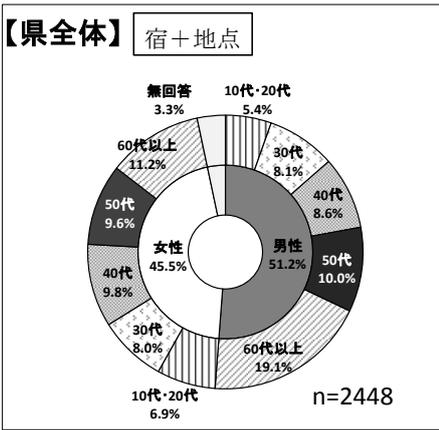
また、湯西川、那須、塩原、宇都宮においては、県内居住者が1割程度と、日光、日光湯元、鬼怒川・川治と比べて多くなっている。



性別・年代

性別は、男女ほぼ半数ずつ。年代は、「60代以上」が最も多く32.7%。次いで「50代」「40代」とシニア層の割合が高い。

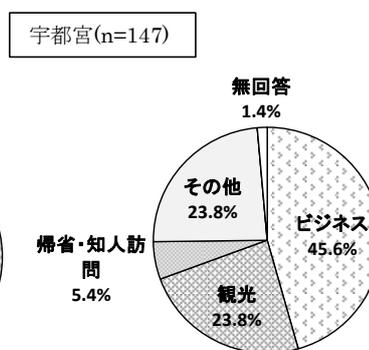
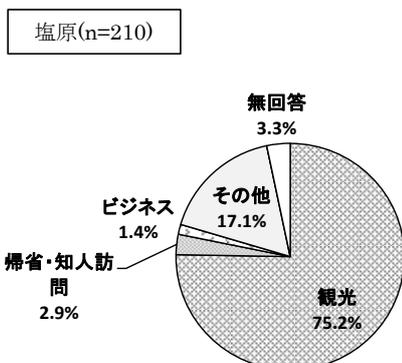
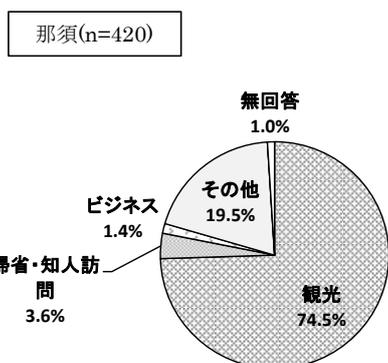
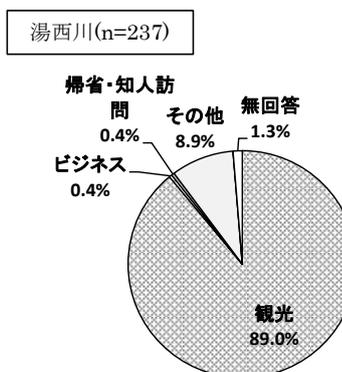
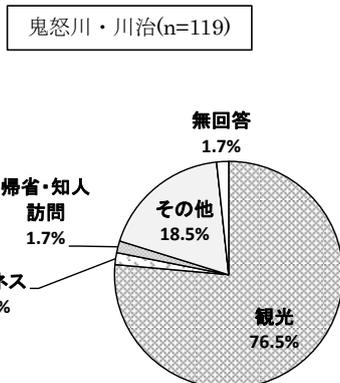
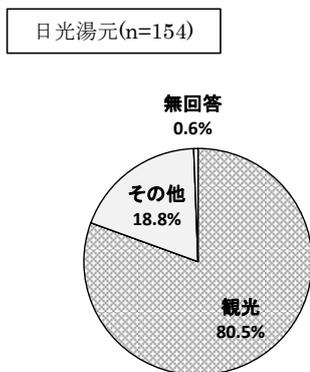
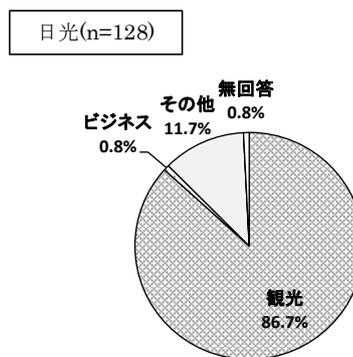
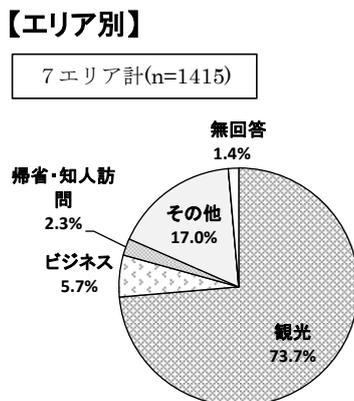
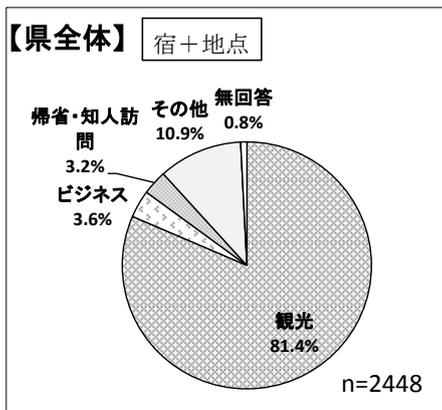
県全体では、性別は、男女ほぼ半数ずつ。年代は、「60代以上」が最も多く30.3%。次いで「50代(19.6%)」「40代(18.4%)」とシニア層の割合が高い。
 またエリアごとにみると、性別は、日光と鬼怒川・川治では女性が多く、日光湯元、湯西川、塩原、宇都宮では男性が多い。年代は、「60代以上」が日光湯元(45.5%)、塩原(41.4%)、那須(38.3%)で多い。また、宇都宮では「男性40代」と「男性50代」、鬼怒川・川治では「女性40代」が他エリアに比べて多い。



旅行の主要目的

「観光」が8割超。宇都宮では「ビジネス」が約5割。

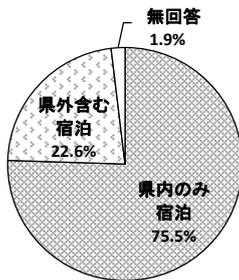
旅行の主要目的は、県全体では、「観光」が81.4%と8割を超える。
 またエリアごとにみると、宇都宮を除いたすべてのエリアで「観光」が7割以上を占める。特に湯西川では約9割が「観光」としている。一方、宇都宮では「ビジネス」が45.6%と最も多く、「観光」が23.8%と続く。



宿泊旅程

「県内のみ宿泊」が7割超。

【県全体】 宿+地点



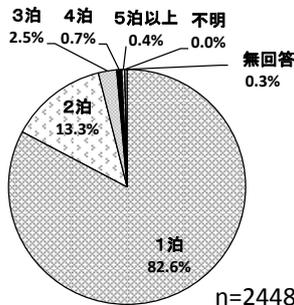
n=523

※今回の旅行の宿泊日数(県内に限らない)が
2泊以上の方のみ集計

栃木県内での宿泊日数

「1泊」が8割超。

【県全体】 宿+地点

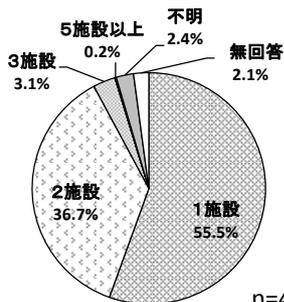


n=2448

栃木県内の宿泊施設数

2泊以上した方の宿泊施設数は、「1施設」が5割超。

【県全体】 宿+地点



n=425

※県内に2泊以上の方のみ集計

旅行先に選んだ理由(複数回答)

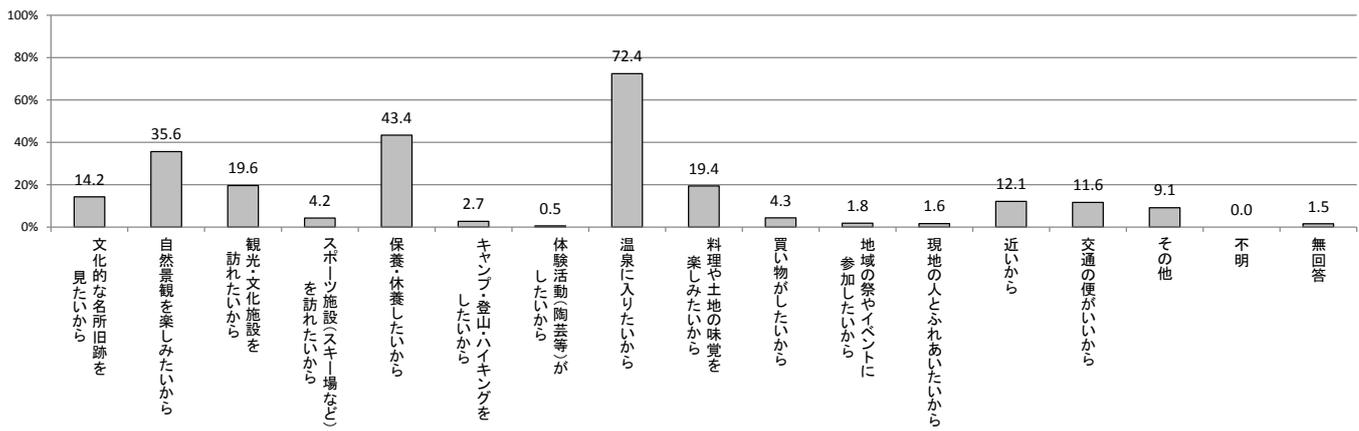
「温泉に入りたいから」が最も多く7割超。宇都宮を除くすべてのエリアで「温泉」が第1位。

旅行先に選んだ理由は、県全体では、「温泉に入りたいから」が最も多く72.4%。次いで「保養・休養したいから(43.4%)」「自然景観を楽しみたいから(35.6%)」となっている。

またエリアごとにみると、宇都宮を除くすべてのエリアで「温泉」が第1位となっている。また、日光湯元、鬼怒川・川治、湯西川、那須、塩原では、「保養・休養」と「自然景観」が第2位もしくは第3位、日光では「名所旧跡」が第2位となっている。

【県全体】

n=1415



【エリア別】 ※上位5位

No.	全体(n=1415)	日光(n=128)	日光湯元(n=154)	鬼怒川・川治(n=119)
1	温泉(72.4%)	温泉(62.5%)	温泉(85.1%)	温泉(79.0%)
2	保養・休養(43.4%)	名所旧跡(57.0%)	保養・休養(55.8%)	保養・休養(45.4%)
3	自然景観(35.6%)	保養・休養(43.0%)	自然景観(53.2%)	自然景観(33.6%)
4	観光・文化施設(19.6%)	自然景観(35.9%)	名所旧跡(23.4%)	料理や土地の味覚(22.7%)
5	料理や土地の味覚(19.4%)	観光・文化施設(35.9%)	観光・文化施設(20.8%)	観光・文化施設(20.2%)

No.	湯西川(n=237)	那須(n=420)	塩原(n=210)	宇都宮(n=147)
1	温泉(87.3%)	温泉(80.2%)	温泉(81.0%)	交通の便(19.0%)
2	自然景観(50.6%)	保養・休養(52.4%)	保養・休養(47.1%)	料理や土地の味覚(14.3%)
3	保養・休養(39.7%)	自然景観(33.8%)	自然景観(31.4%)	近いから(12.9%)
4	料理や土地の味覚(30.4%)	観光・文化施設(18.8%)	近いから(14.8%)	観光・文化施設(8.8%)
5	観光・文化施設(24.1%)	料理や土地の味覚(16.9%)	料理や土地の味覚(13.3%)	スポーツ施設(8.8%)

※「その他」「不明」を除く

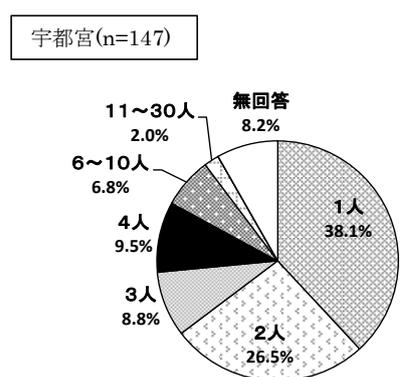
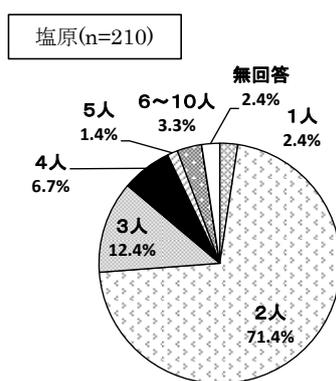
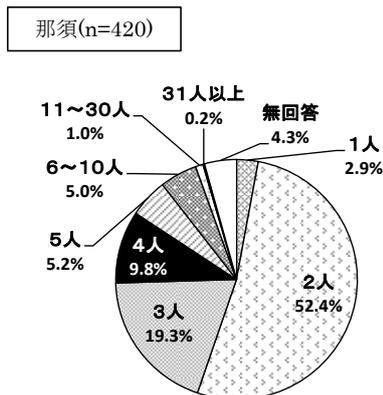
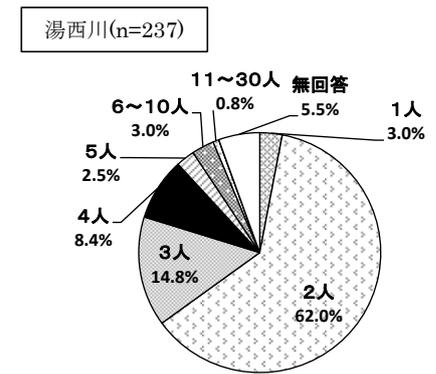
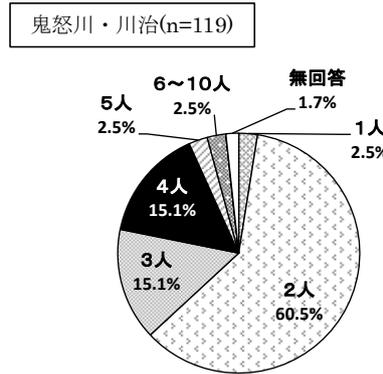
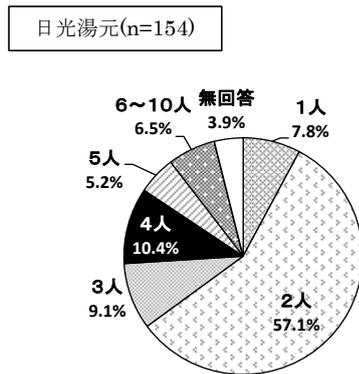
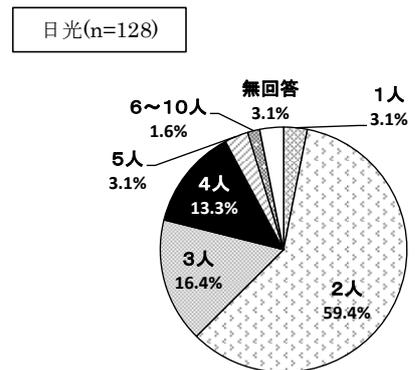
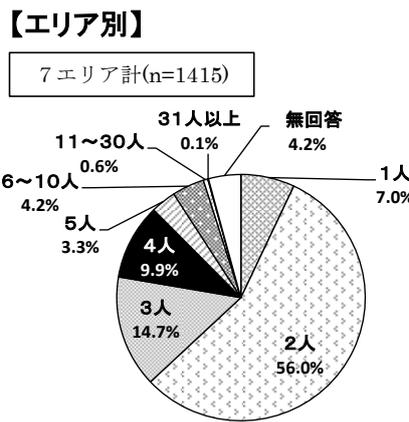
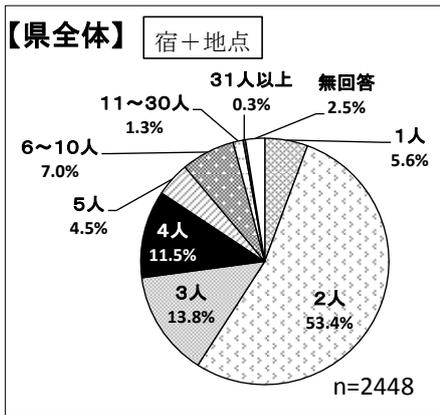
同行人数※回答者を含む

「2人」が最も多く5割超。
宇都宮を除いたすべてのエリアで「2人」が最も多い。

回答者を含む同行人数は、県全体では、「2人」が最も多く53.4%。次いで「3人(13.8%)」「4人(11.5%)」となっている。

またエリアごとにもみると、宇都宮を除いたすべてのエリアで「2人」が最も多く半数以上を占める。

一方、宇都宮では「1人」が38.1%と最も多く、次いで「2人」が26.5%となっている。

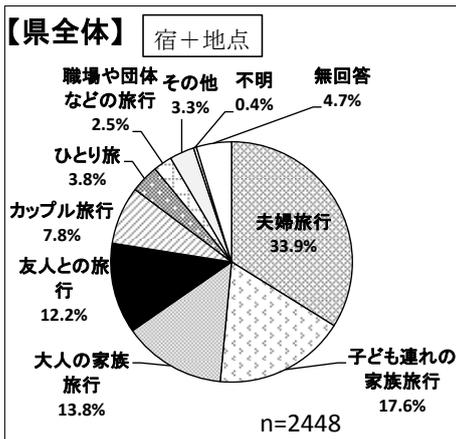


同行者の関係

「夫婦旅行」が最も多く3割超。宇都宮を除いたすべてのエリアで「夫婦旅行」が最も多い。

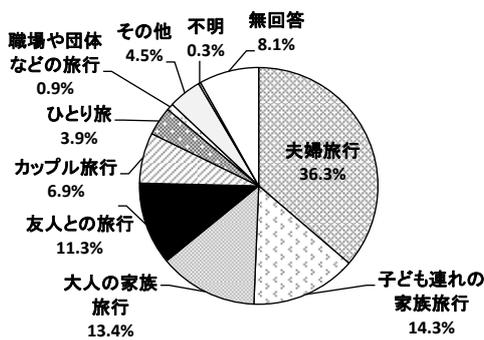
同行者の関係は、県全体では、「夫婦旅行」が最も多く33.9%。次いで「子ども連れの家族旅行(17.6%)」「大人の家族旅行(13.8%)」「友人との旅行(12.2%)」となっている。

またエリアごとにみると、宇都宮を除いたすべてのエリアで「夫婦旅行」が最も多く、塩原(51.0%)、日光湯元(45.5%)、湯西川(39.7%)、那須(38.1%)の順となっている。「大人の家族旅行」は日光(20.3%)、「子ども連れの家族旅行」は那須(20.5%)が多い。宇都宮は「ひとり旅」が15.6%と他のエリアに比べて多い。

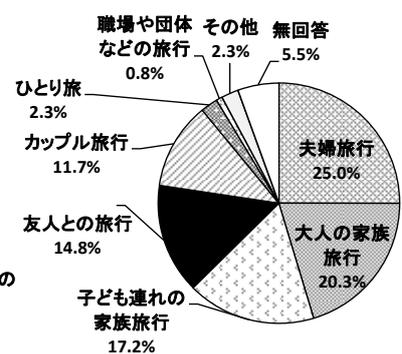


【エリア別】

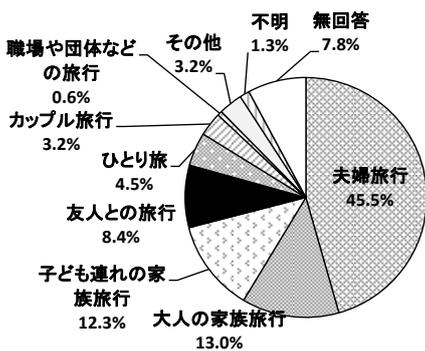
7エリア計(n=1415)



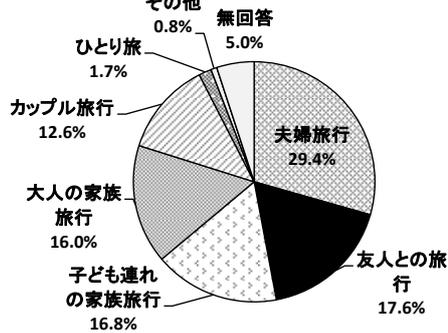
日光(n=128)



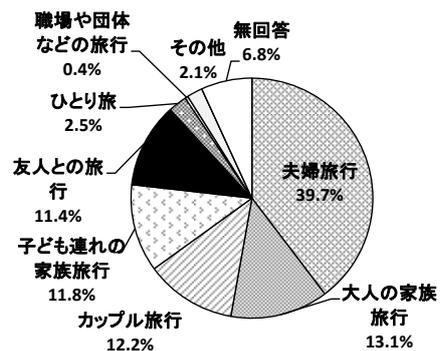
日光湯元(n=154)



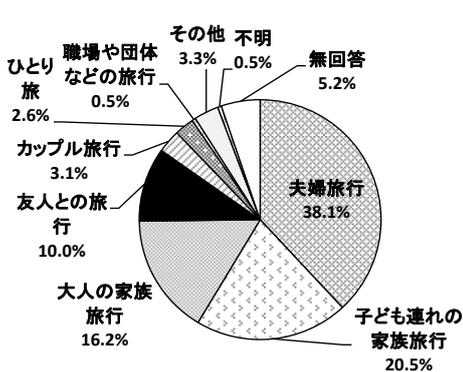
鬼怒川・川治(n=119)



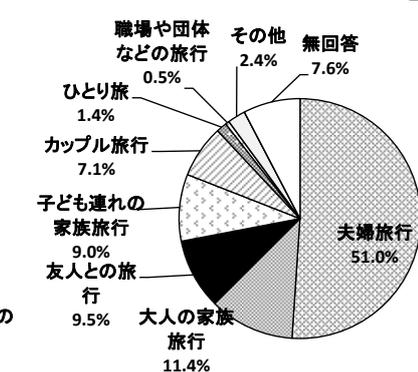
湯西川(n=237)



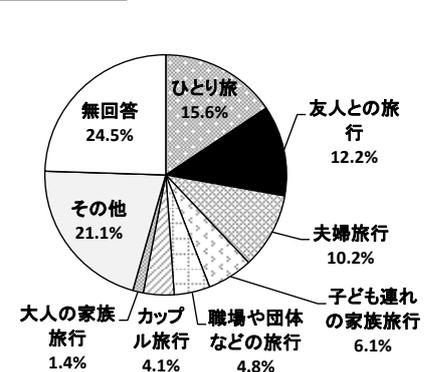
那須(n=420)



塩原(n=210)



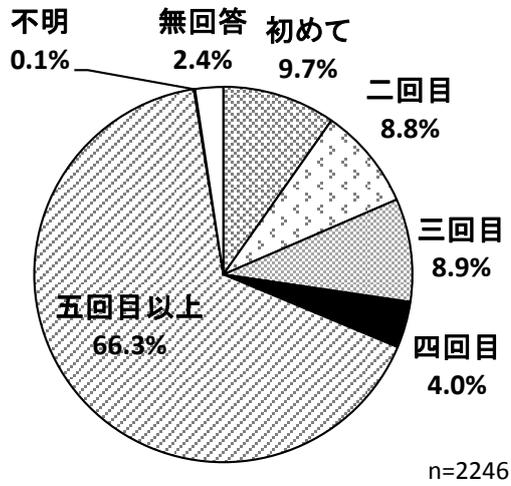
宇都宮(n=147)



県外客の栃木県への来訪回数

「五回目以上」が6割超。「初めて」は9.7%。

【県全体】 宿+地点

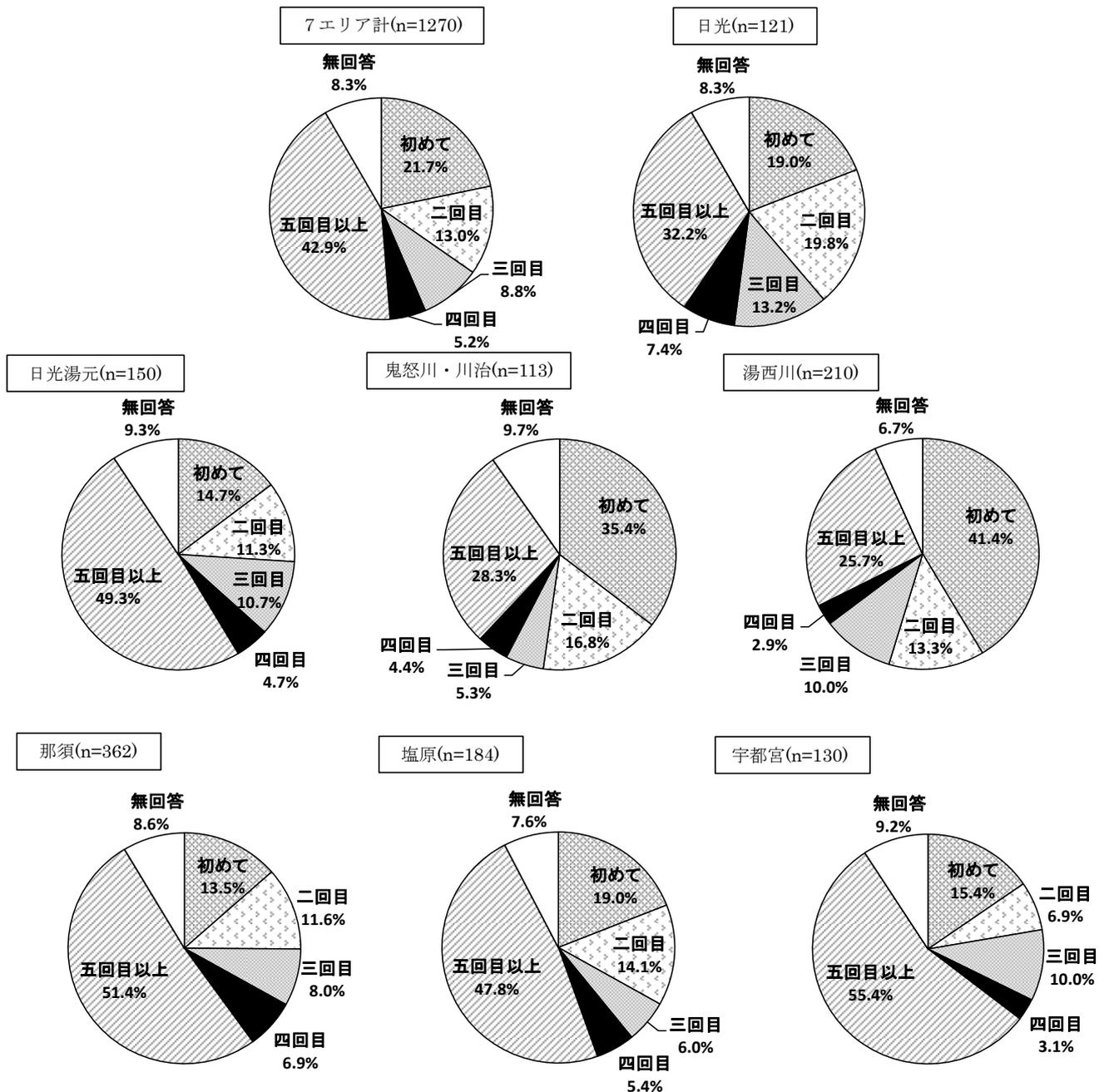


県外客の調査地域周辺への来訪回数

宇都宮、那須、日光湯元、塩原で「五回目以上」が半数前後とリピーターが多くを占める。

県外客の調査地域周辺への来訪回数は、宇都宮、那須、日光湯元、塩原では「五回目以上」が半数前後とリピーターが多くを占める。日光は、「五回目以上」が32.2%と最も多く、次いで「二回目」、「初めて」の順となる。一方、鬼怒川・川治と湯西川では、「初めて」が最も多い。

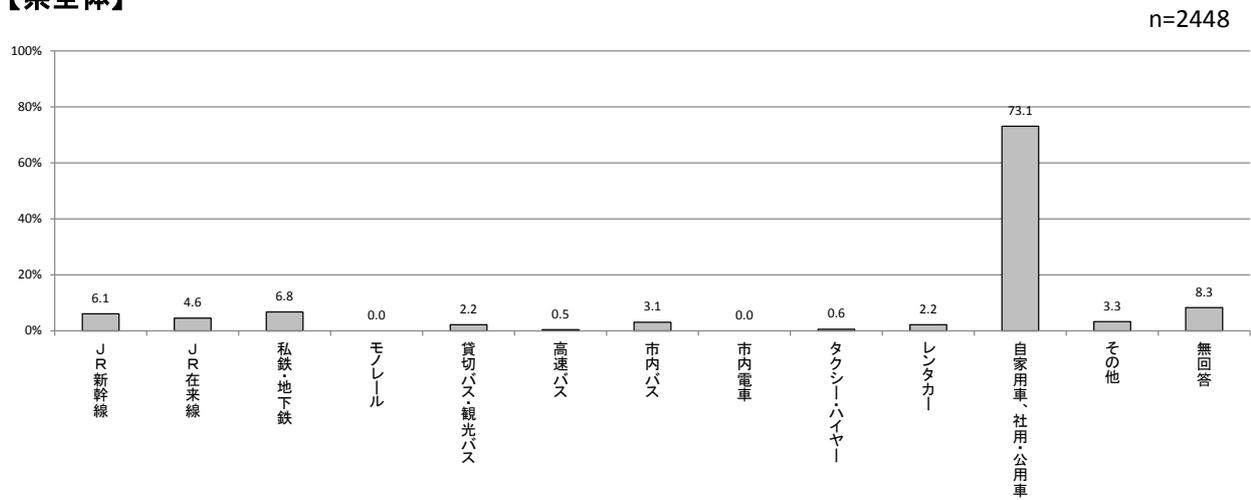
【エリア別】



利用交通機関（複数回答）

「自家用車、社用・公用車」が最も多く7割超。

【県全体】

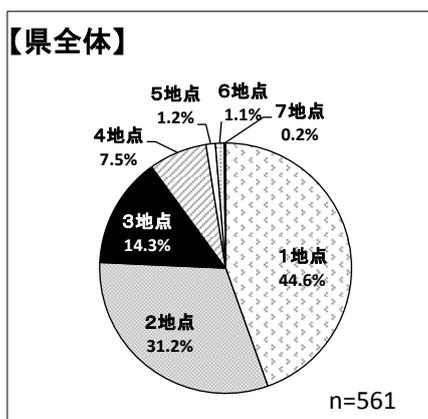


立ち寄り観光施設数

1地点から2地点で約75%、3地点が約15%。各エリアとも「1地点」、「2地点」が多い。

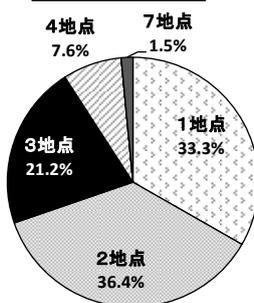
立ち寄り観光施設は、県全体では、「1地点」が最も多く44.6%。次いで「2地点(31.2%)」「3地点(14.3%)」となっている。

またエリアごとにみると、各エリアとも「1地点」、「2地点」が多い。鬼怒川・川治、宇都宮、塩原では「1地点」が半数以上となっている。

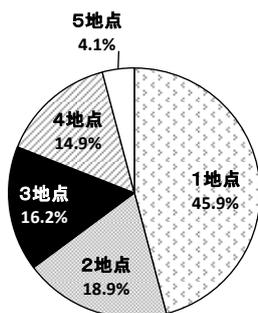


【エリア別】

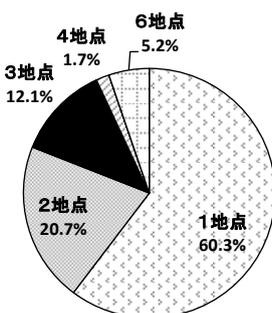
日光(n=66)



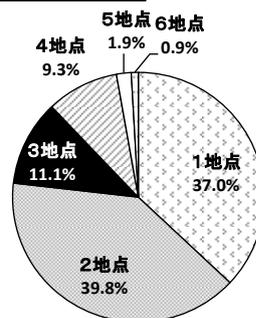
日光湯元(n=74)



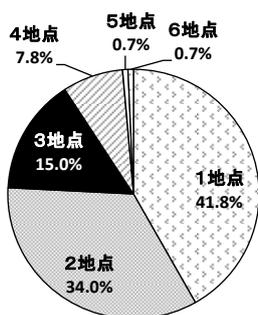
鬼怒川・川治(n=58)



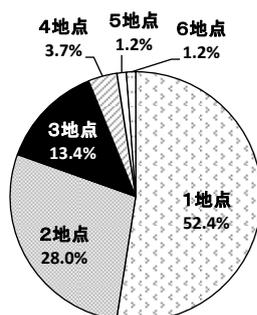
湯西川(n=108)



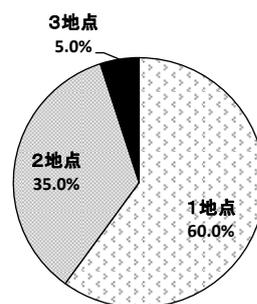
那須(n=153)



塩原(n=82)



宇都宮(n=20)



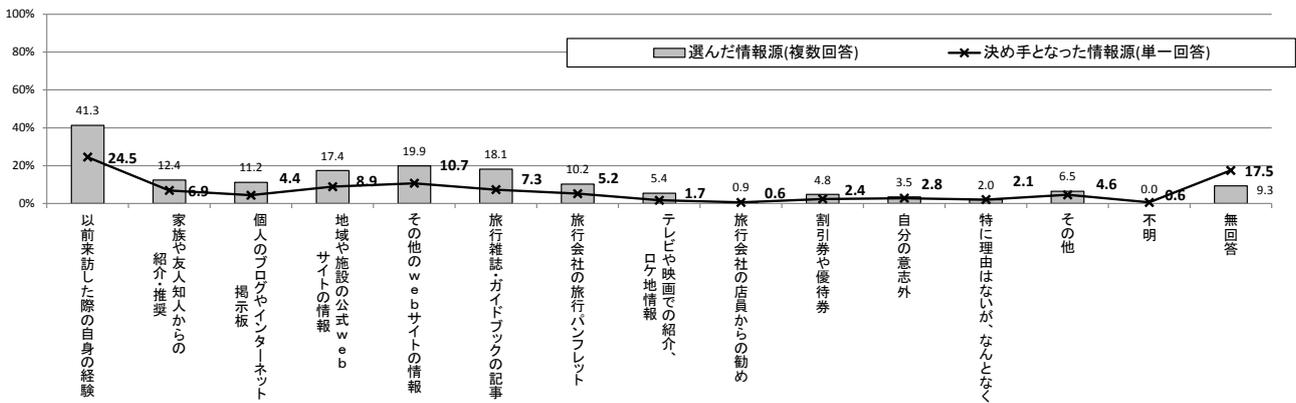
旅行先を選んだ情報源(複数回答)

“決め手”となった情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く2割超。

県全体では、旅行先を選んだ情報源は、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く41.3%。
“決め手”となった情報源でも、「以前来訪した際の自身の経験」が最も多く24.5%。

【県全体】

n=1415



【年代別】 上位5位

No.	全体(n=1415)	10代・20代(n=144)
1	以前来訪した際の自身の経験(24.5%)	その他のwebサイトの情報(22.9%)
2	その他のwebサイトの情報(10.7%)	家族や友人知人からの紹介・推奨(13.2%)
3	地域や施設の公式webサイトの情報(8.9%)	以前来訪した際の自身の経験(10.4%)
4	旅行雑誌・ガイドブックの記事(7.3%)	旅行雑誌・ガイドブックの記事(8.3%)
5	家族や友人知人からの紹介・推奨(6.9%)	地域や施設の公式webサイトの情報(7.6%)

No.	30代(n=201)	40代(n=245)
1	以前来訪した際の自身の経験(18.9%)	以前来訪した際の自身の経験(26.9%)
2	その他のwebサイトの情報(17.9%)	その他のwebサイトの情報(13.9%)
3	地域や施設の公式webサイトの情報(11.4%)	地域や施設の公式webサイトの情報(12.7%)
4	家族や友人知人からの紹介・推奨(8.5%)	家族や友人知人からの紹介・推奨(5.7%)
5	旅行雑誌・ガイドブックの記事(5.5%)	個人のブログやインターネット掲示板(5.3%)

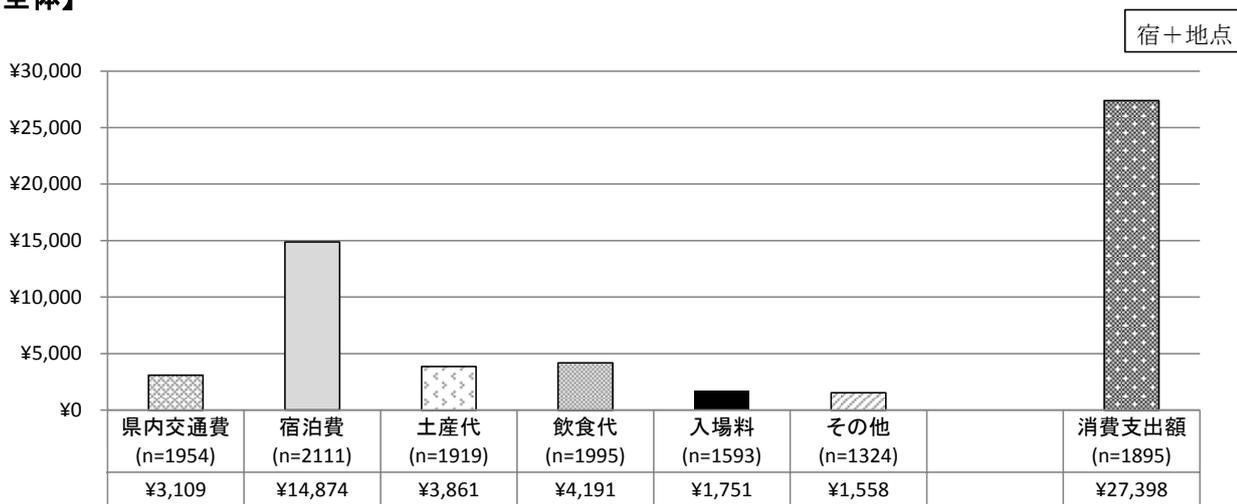
No.	50代(n=298)	60代以上(n=491)
1	以前来訪した際の自身の経験(28.2%)	以前来訪した際の自身の経験(27.5%)
2	地域や施設の公式webサイトの情報(8.7%)	旅行雑誌・ガイドブックの記事(8.6%)
3	旅行雑誌・ガイドブックの記事(8.4%)	地域や施設の公式webサイトの情報(6.3%)
4	その他のwebサイトの情報(8.1%)	旅行会社の旅行パンフレット(6.3%)
5	旅行会社の旅行パンフレット(7.0%)	家族や友人知人からの紹介・推奨(5.9%)

消費支出（平均）

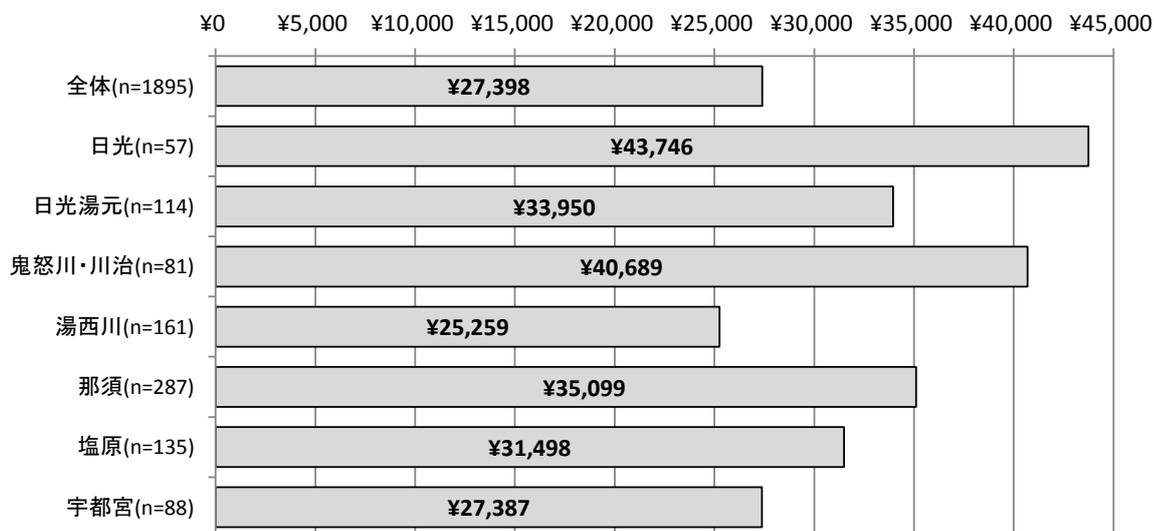
宿泊客一人当たりの消費支出の平均は、総額で 27,398 円。日光で消費支出の総額が最も高い。

県全体では、宿泊客一人当たりの消費支出の平均は、総額で 27,398 円。内訳は、「宿泊費」が最も高く 14,874 円。次いで「飲食代（4,191 円）」、「土産代（3,861 円）」となっている。
またエリアごとにみると、消費支出額は、日光（43,746 円）が最も高く、次いで鬼怒川・川治（40,689 円）、那須（35,099 円）、日光湯元（33,950 円）の順となっている。

【県全体】



【エリア別】



調査地域の総合期待度／総合満足度／再来訪意向／紹介意向

総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせて約9割。

県全体では、調査地域への期待度は、「大いに期待していた」と「やや期待していた」をあわせて84.2%であったのに対し、総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせて87.2%となった。

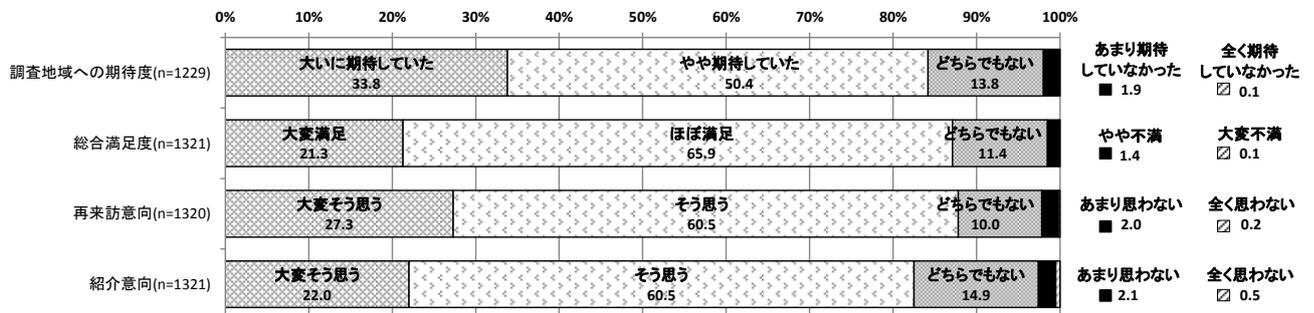
また訪れたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせて87.8%と9割に迫る。

来訪を薦めたいかは、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせて82.5%と8割を超える。

またエリアごとにみると、総合的な満足度は、「大変満足」と「ほぼ満足」をあわせた満足層が、日光、日光湯元、湯西川、那須で9割を超える。

また訪れたいかについては、「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた再来訪意向層が、日光、日光湯元、湯西川、那須で9割を超える。

【県全体】



※無回答を除いて集計

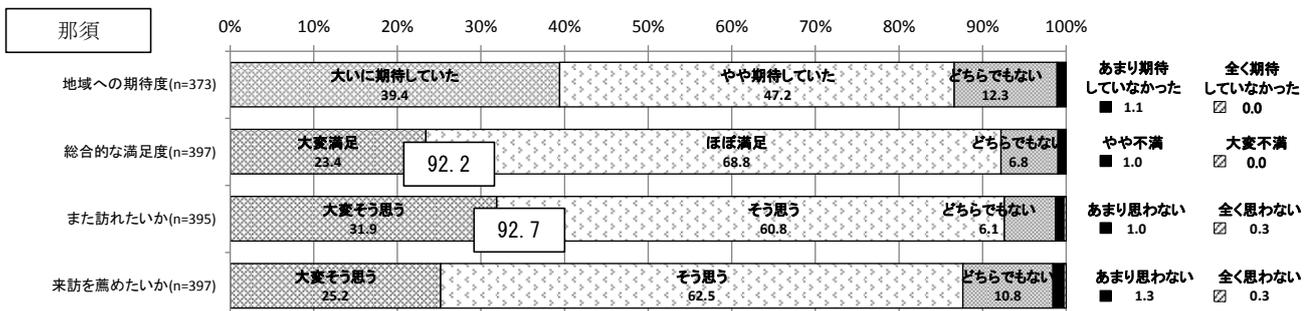
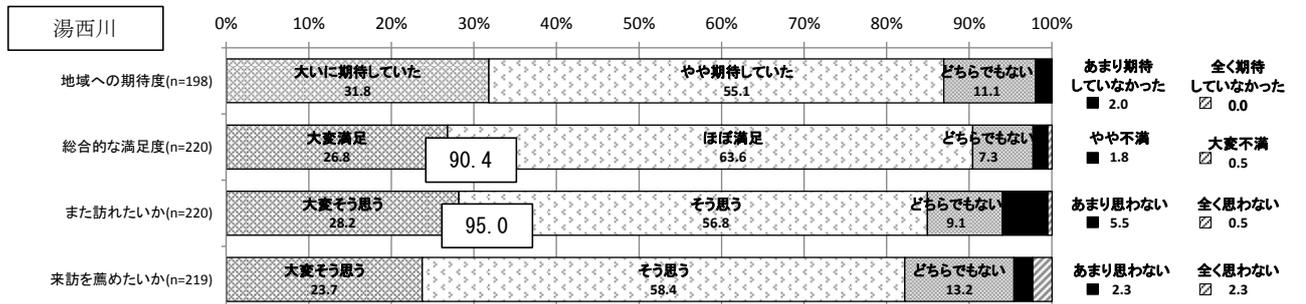
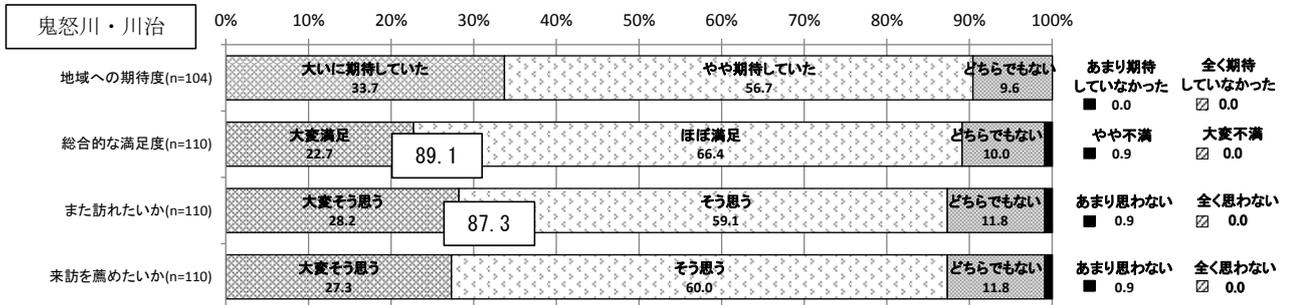
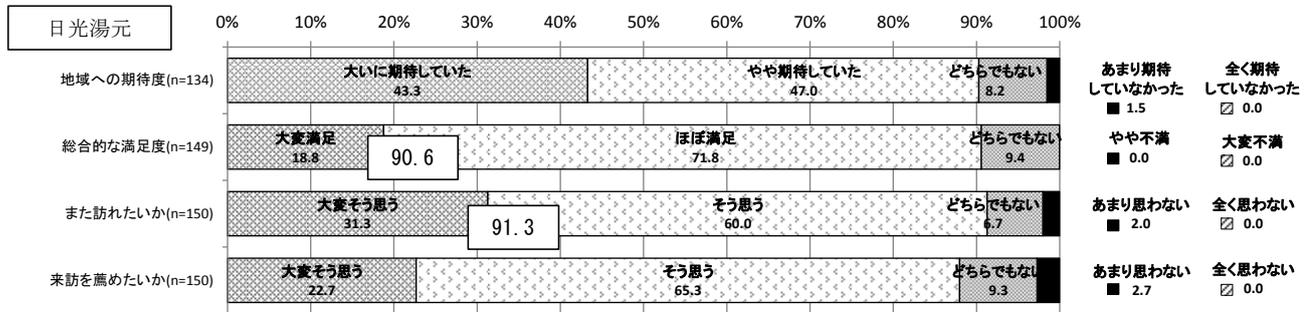
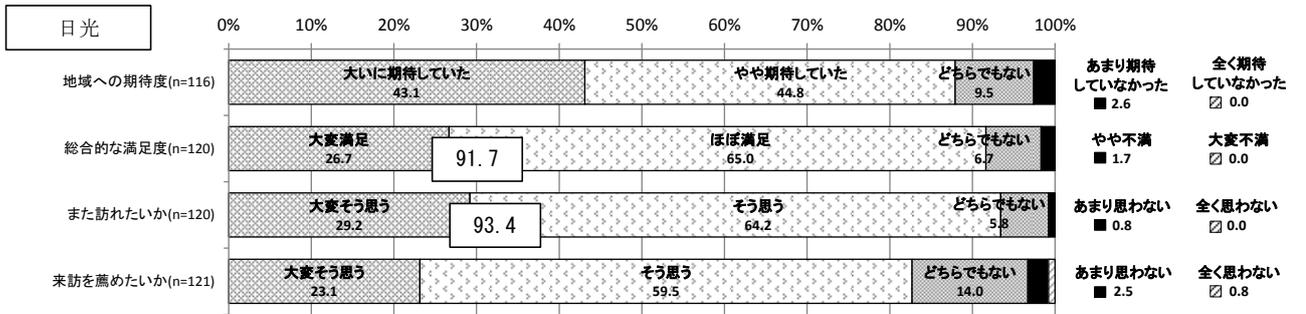
加重平均値

地域への期待度	総合的な満足度	また訪れたいか	来訪を薦めたいか
1.16	1.07	1.13	1.01

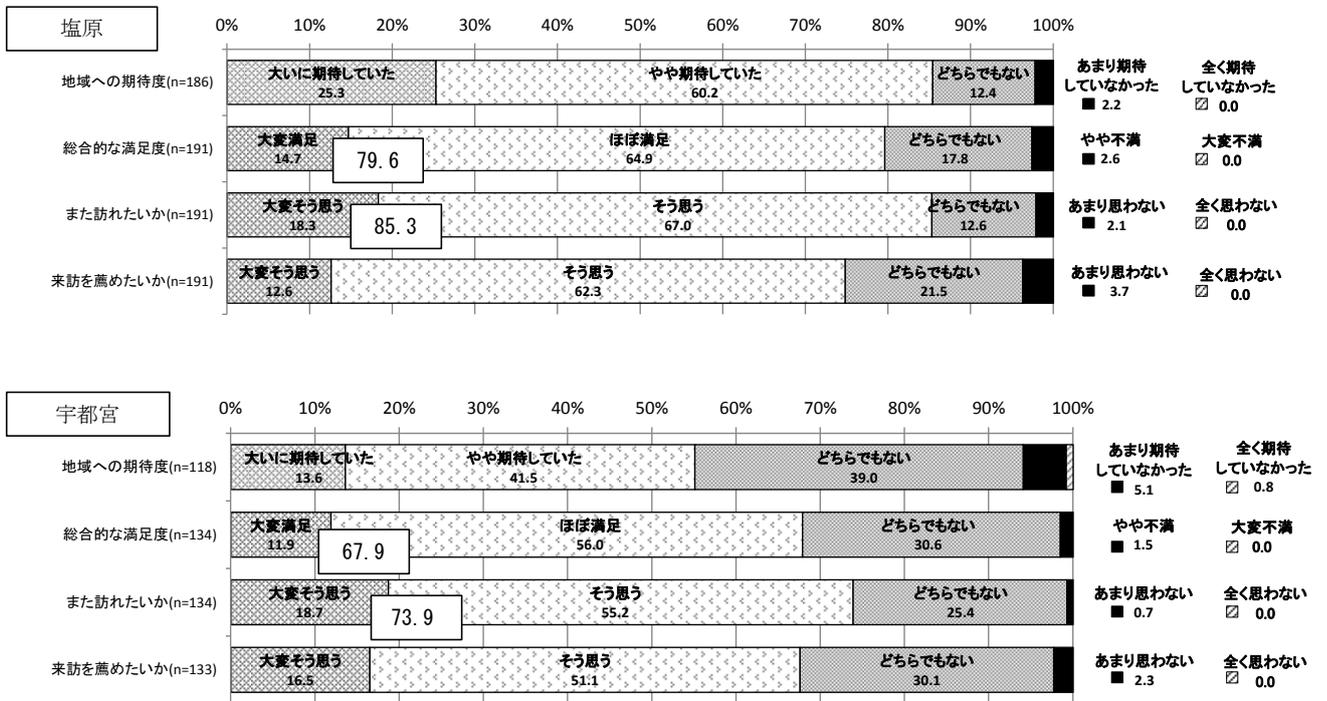
加重平均：肯定意見「大いに（大変）～」を+2、「やや（ほぼ）～」を+1に、中間意見を「どちらでもない」を0、否定意見「あまり（やや）～ない」を-1、「全く（大変）～ない」を-2に置き換えて算出した平均値で、+の数値で肯定的、-の数値で否定的な度合となる。

第2章 国内観光客調査 調査結果 2. 宿泊客

【エリア別】 ※無回答を除いて集計



※口内の数字は、「大変満足」と「ほぼ満足」または「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた数。



※口内の数字は、「大満足」と「ほぼ満足」または「大変そう思う」と「そう思う」をあわせた数。

第3章 訪県外国人調査 調査結果

1.回答者属性

国籍、性別・年代

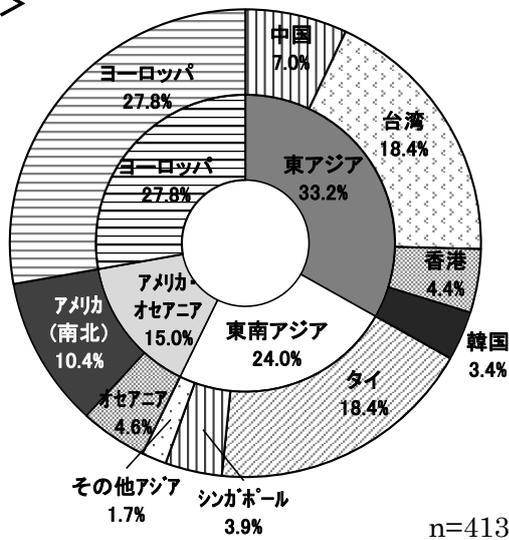
回答者の国籍は地域別では東アジア 33.2%、東南アジア 24.0%とアジアで6割近くを占める。アメリカ・オセアニアで 15.0%、ヨーロッパで 27.8%となっている。

国(地域)別にみると、台湾、タイが共に 18.4%と最も多く、中国が 7.0%で続く。アジア圏では以下、香港(4.4%)、シンガポール(3.9%)、韓国(3.4%)と続く。

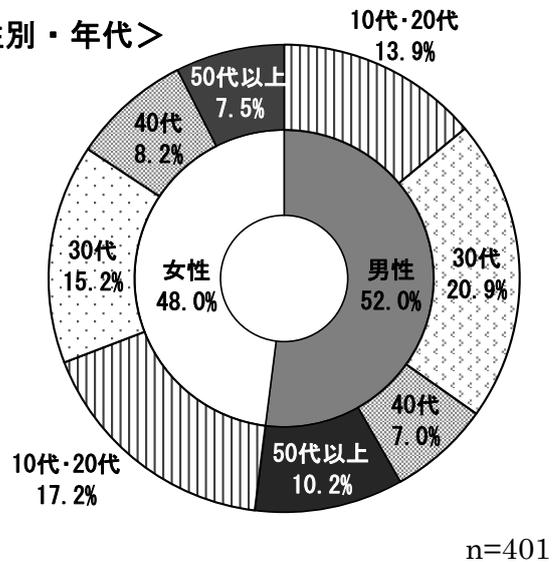
欧米で最も多いのはフランスの 6.8%で、以下、アメリカ(6.1%)、ドイツ(5.1%)、イギリス(4.6%)、オーストラリア(4.1%)と続く。

回答者の性別は男女ほぼ半数である。性・年代別では、男性 30代が 20.9%と最も多く、次いで女性 10代・20代が 17.2%である。男女の 10代~30代の割合が 67.2%と全体の3分の2を占めている。

<国籍>



<性別・年代>



※性別、年齢無回答を除く

欧米内訳

(単位:人、%)

国籍	フランス	アメリカ	ドイツ	イギリス	オーストラリア	イタリア	スペイン	スイス	アイルランド	ポーランド	ロシア	ブルガリア	スウェーデン	ベルギー	デンマーク	オーストリア	ハンガリー	チェコ	モロッコ
全体(413人) 欧米計(157人)																			
(人)	28	25	21	19	17	9	9	8	4	3	3	3	2	1	1	1	1	1	1
(%)	6.8	6.1	5.1	4.6	4.1	2.2	2.2	1.9	1.0	0.7	0.7	0.7	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

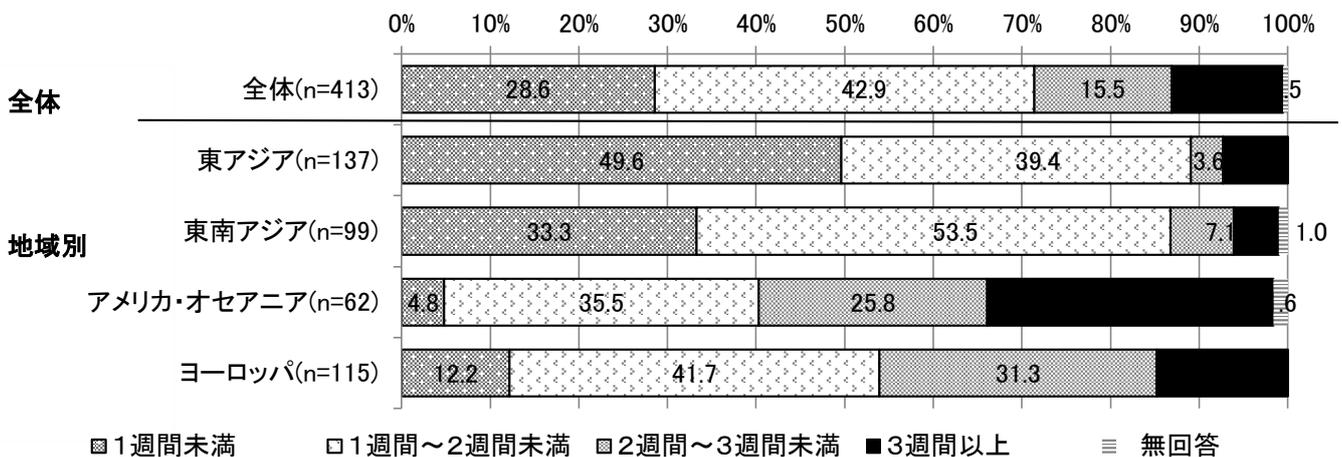
2.旅行客の流動実態

滞在期間・地域別 (n=413)

日本での滞在期間は全体では1週間～2週間未満が42.9%と最も多い。

地域別にみると特徴が異なり、東アジアでは1週間未満が49.6%と最も多く、東南アジアは1週間～2週間未満が53.5%と最も多くなっている。

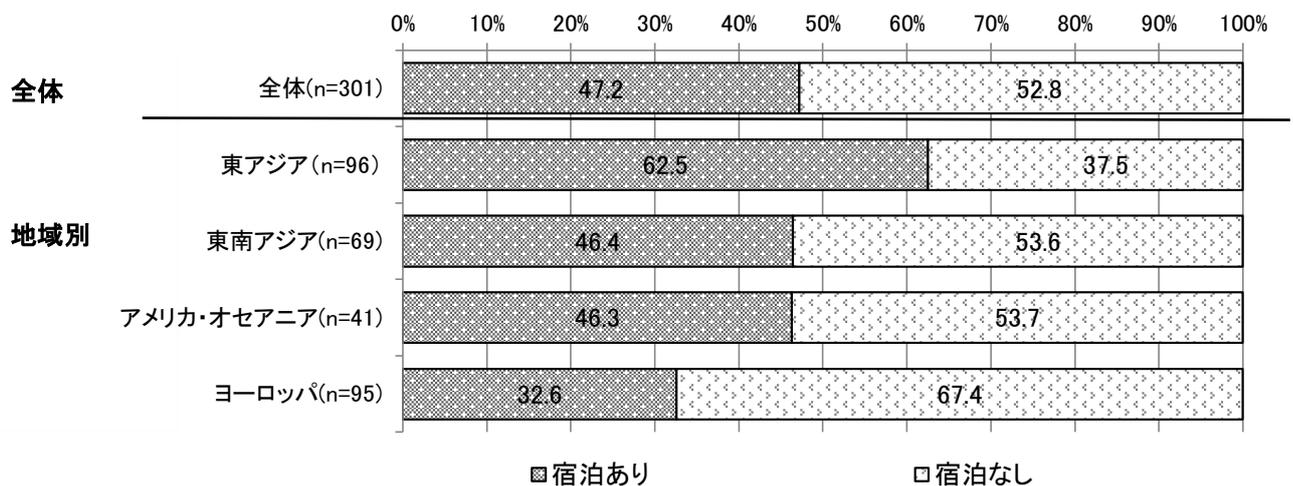
また、アメリカ・オセアニアは1週間～2週間未満(35.5%)が最も多く、3週間以上(32.3%)と続くのに対し、ヨーロッパは1週間～2週間未満が41.7%と最も多く、2週間～3週間未満が31.3%と続く。



日光での宿泊・地域別 (駅前調査結果のみ) (n=301)

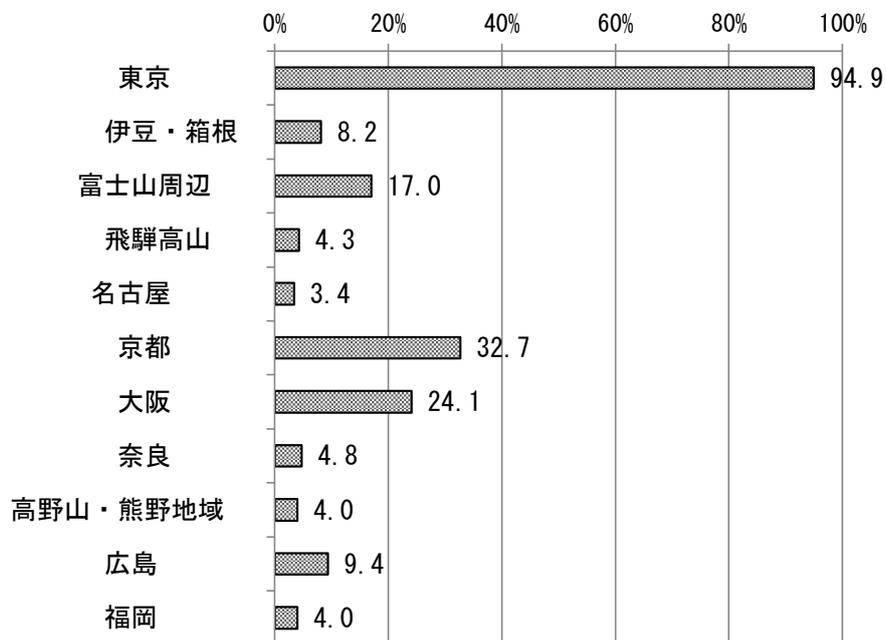
回答者のうち日光で宿泊する客の割合(47.2%)と日帰りの割合(52.8%)はほぼ同数となった。宿泊客・日帰り客の割合を地域別にみると、東アジアでは宿泊客が62.5%と日帰り客の割合を上回ったが、東南アジア、アメリカ・オセアニアでは、宿泊客・日帰り客の割合はほぼ同数、一方、ヨーロッパでは日帰り客が67.4%と宿泊客の割合を上回った。

※JR日光駅・東武日光駅前での調査を集計



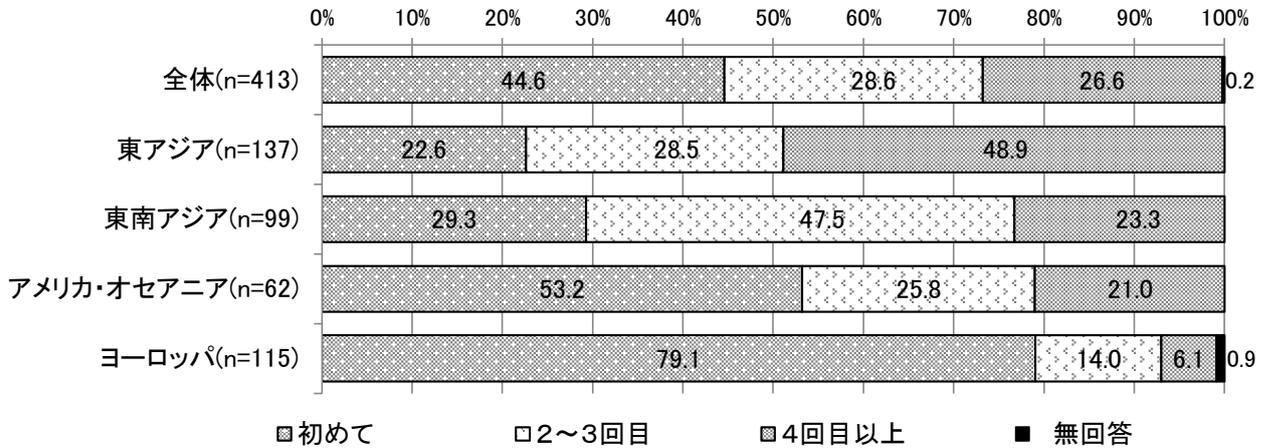
日本での宿泊地 (n=352) ※複数回答

日光以外の日本での宿泊地をみると、東京が94.9%とほぼすべての回答者が東京に宿泊している。その他の宿泊地としては、京都(32.7%)、大阪(24.1%)、富士山周辺(17.0%)での宿泊が多くなっている。



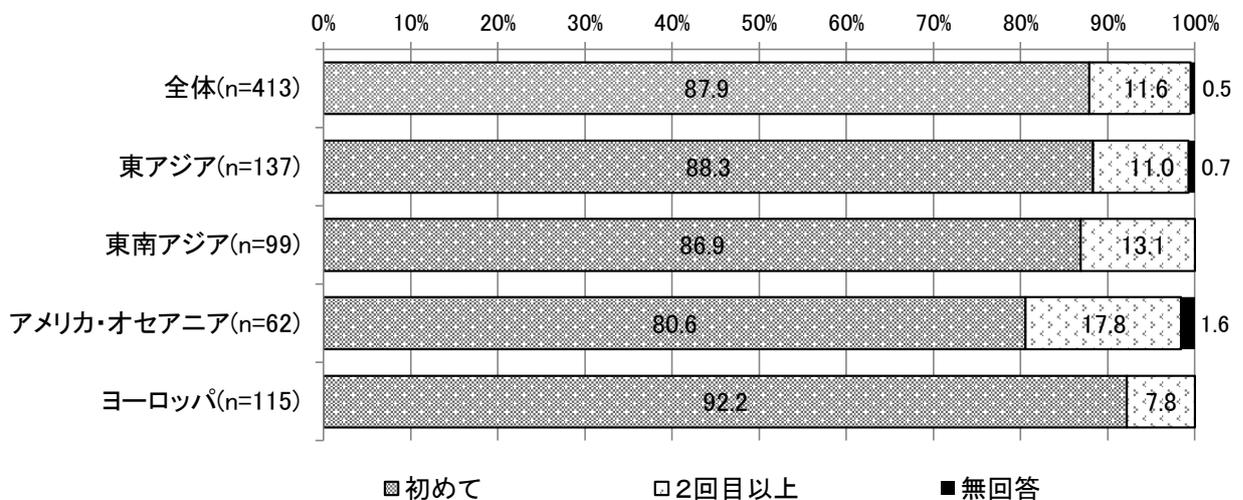
訪日回数・地域別 (n=413)

訪日回数は全体では44.6%が初めての来日。2～3回目の訪問は28.6%。4回目以上は26.6%を占める。地域別にみると、初来日の比率は東アジア(22.6%)、東南アジア(29.3%)、アメリカ・オセアニア(53.2%)、ヨーロッパ(79.1%)と地域によって異なる。下のグラフの日光エリアへの初訪問比率が、いずれの地域も80～90%という結果を合わせて考察すると、アジア圏からの旅行者は2回目以降の訪日で日光エリアを訪れることが多いのに対し、欧米、特にヨーロッパでは初めての訪日で日光を訪れていることが多いと推測される。



日光エリアへの訪問回数・地域別 (n=413)

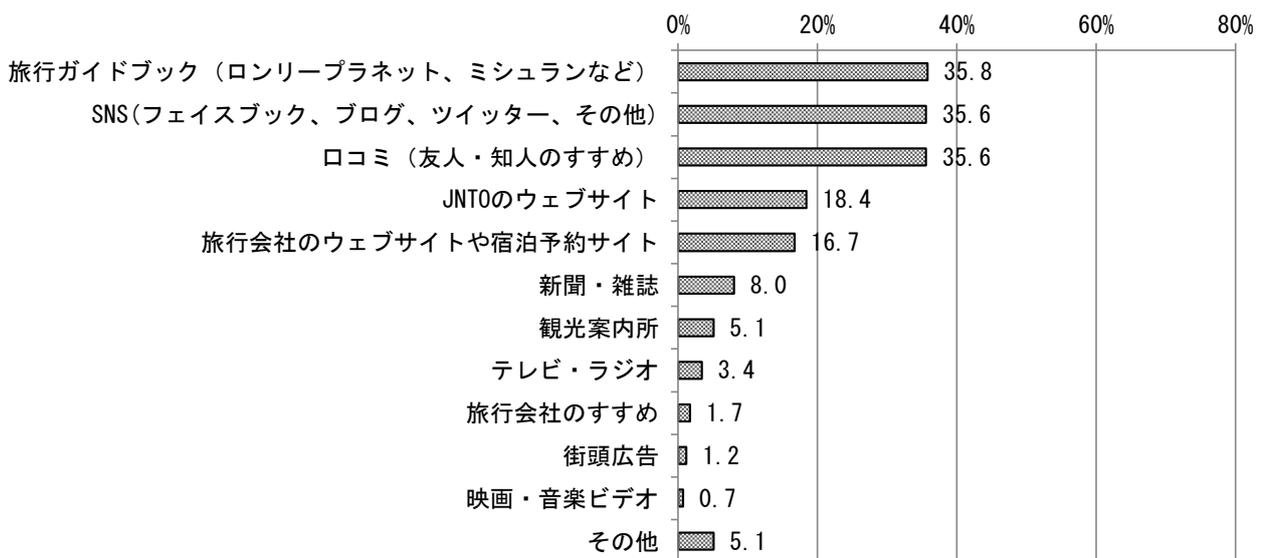
日光エリアへの訪問回数は全体では87.9%が初めての訪問であった。地域別でみると、アメリカ・オセアニアのリピート率(2回目以上の訪問率)が17.8%と高い。



日光エリア訪問時の情報源 (n=413) ※複数回答

日光エリア訪問時の情報源(複数回答)としては、旅行ガイドブック、SNS、口コミ(友人・知人のすすめ)がいずれも 35%台と拮抗している。次いでJNTOのウェブサイト(18.4%)、旅行会社のウェブサイトや宿泊予約サイト(16.7%)が多い。

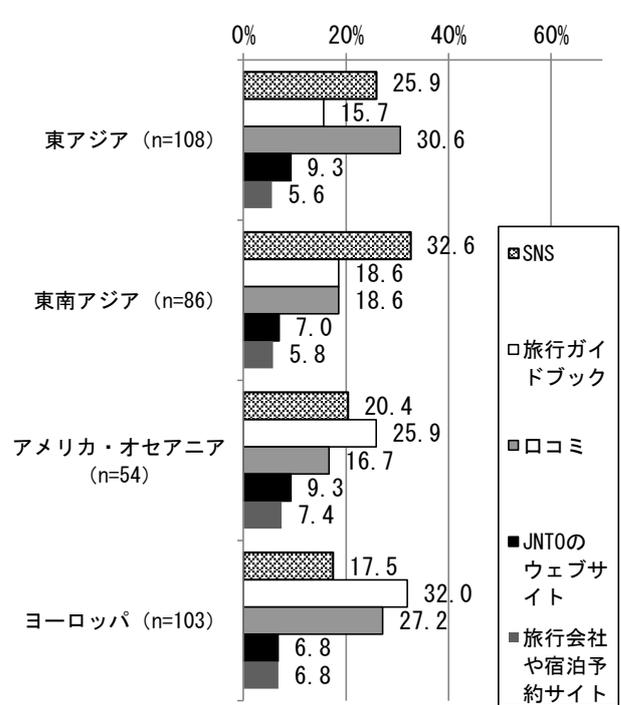
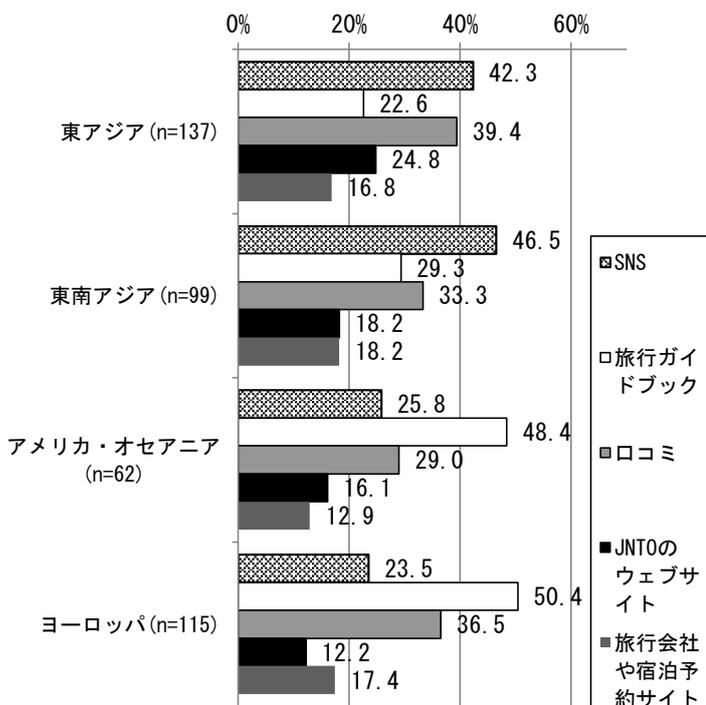
地域別に最も多い情報源をみると、東アジアでは、SNS(42.3%)+口コミ(39.4%)で情報収集し口コミ(30.6%)が決め手、東南アジアでは、SNS(46.5%)+口コミ(33.3%)+旅行ガイドブック(29.3%)で情報収集しSNS(32.6%)が決め手、アメリカ・オセアニアでは、旅行ガイドブック(48.4%)+口コミ(29.0%)+SNS(25.8%)、ヨーロッパでは、旅行ガイドブック(50.4%)+口コミ(36.5%)+SNS(23.5%)で情報収集しており、旅行ガイドブックが決め手という傾向がみられる。



地域別状況

参考とした情報源 <複数回答>

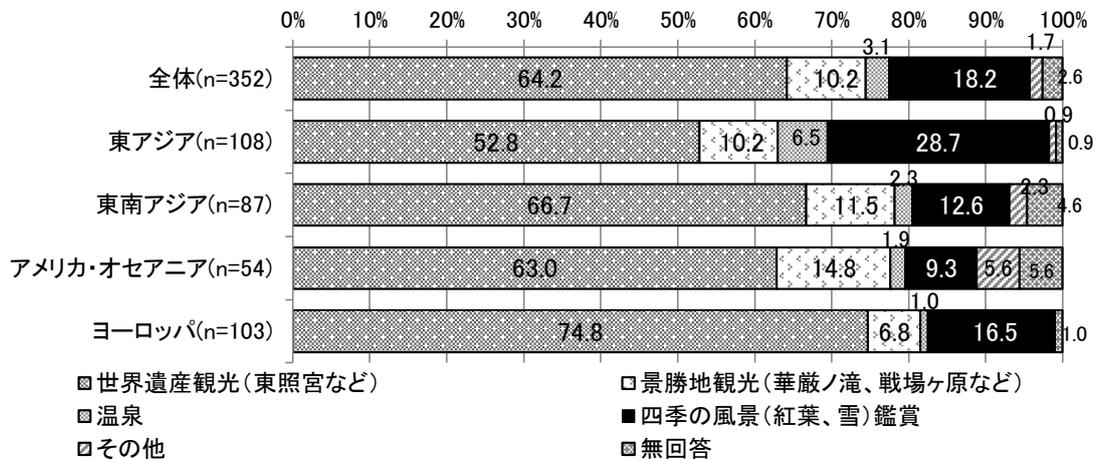
決め手となった情報源 <単一回答>



日光エリアへの訪問を決めた一番の目的・地域別 (n=352)

日光エリアへの訪問を決めた一番の目的は、全体として世界遺産観光が64.2%と最も多い。地域別ではヨーロッパの74.8%が世界遺産観光を一番の目的としている。

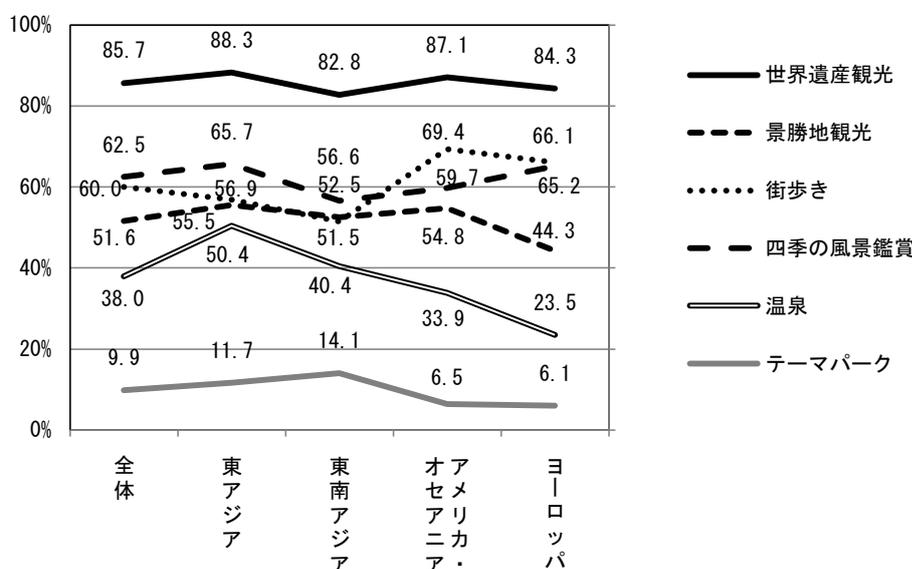
一番の目的で次に多いのは四季の風景鑑賞(18.2%)で、地域別では東アジアの28.7%が四季の風景鑑賞を一番の目的としている。



日光エリアですること/したこと・地域別 (n=413)

日光エリアですること/したことは、全体では世界遺産観光が85.7%と最も高く、次いで四季の風景鑑賞(62.5%)、街歩き(60.0%)、景勝地観光(51.6%)、温泉(38.0%)と続く。テーマパークは9.9%と少なかった。

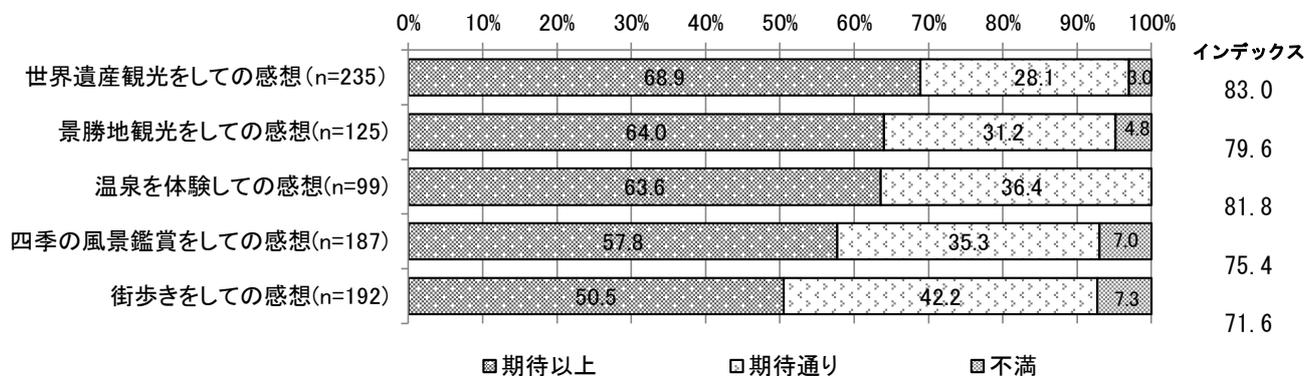
地域別で見ると、各地域とも世界遺産観光が8割強と最も多く、四季の風景鑑賞、街歩き、景勝地観光が5~6割程度で拮抗しているが、景勝地観光はヨーロッパで44.3%とやや低い。また温泉は東アジアは50.4%だが、東南アジアが40.4%、アメリカ・オセアニアが33.9%、ヨーロッパでは23.5%と地域ごとの違いが大きい。



3. 旅行者の満足度

日光エリアで観光しての満足度：全体

日光エリアでの観光を通じた感想では、「期待以上」と回答した割合が最も高いのが世界遺産観光の68.9%で、次いで景勝地観光(64.0%)、温泉(63.6%)、四季の風景鑑賞(57.8%)、街歩き(50.5%)となっている。温泉では「不満」と回答した方はいなかった。



項目別の満足度の比較

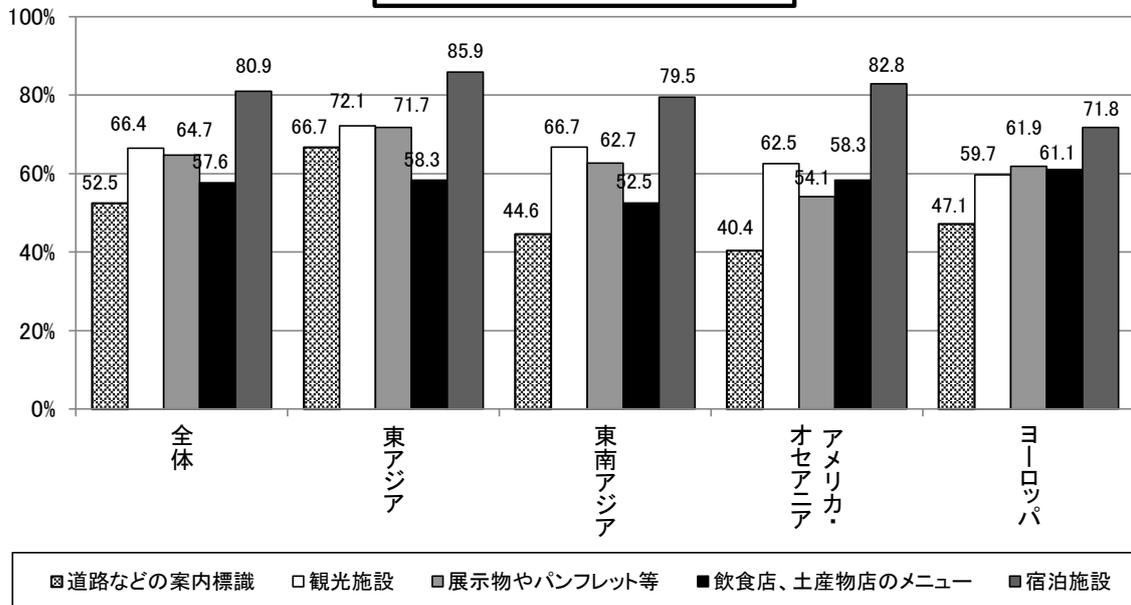
案内表示言語の種類については、宿泊施設での満足度が8割であるのに対し、観光施設内の案内表示では66.4%、観光施設の展示物やパンフレットでは64.7%、飲食店、土産物店のメニューでは57.6%、道路などの案内標識では52.5%となっている。

地域別にみると、宿泊施設での満足度はいずれも高いが、東南アジアでは飲食店、土産物店のメニューの満足度が52.5%、アメリカ・オセアニアでは観光施設の展示物やパンフレットの満足度が54.1%と他の地域に比べ低く、ヨーロッパでは観光施設の案内表示、観光施設の展示物やパンフレット、飲食店、土産物店のメニューの表示言語の種類は同程度の6割となっている。

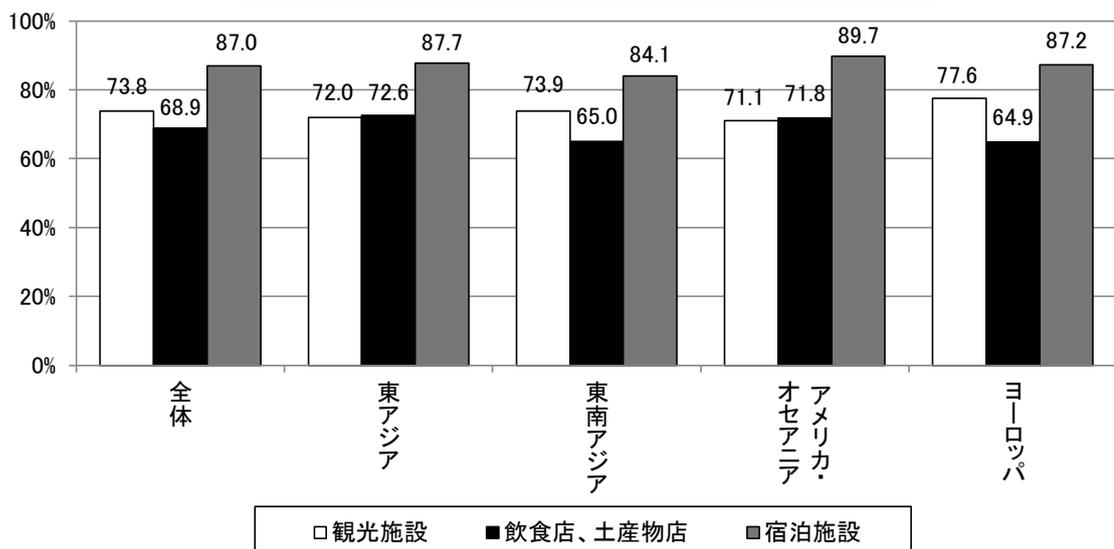
従業員/店員とのコミュニケーションでは宿泊施設での満足度が87.0%と最も高く、観光施設が73.8%、飲食店、土産物店が68.9%の順となっている。

地域別にみると、宿泊施設の満足度はいずれの地域においても高いが、東南アジアとヨーロッパでは飲食店、土産物店の店員とのコミュニケーションの満足度がやや低くなっている。

案内表示言語の種類（地域別）



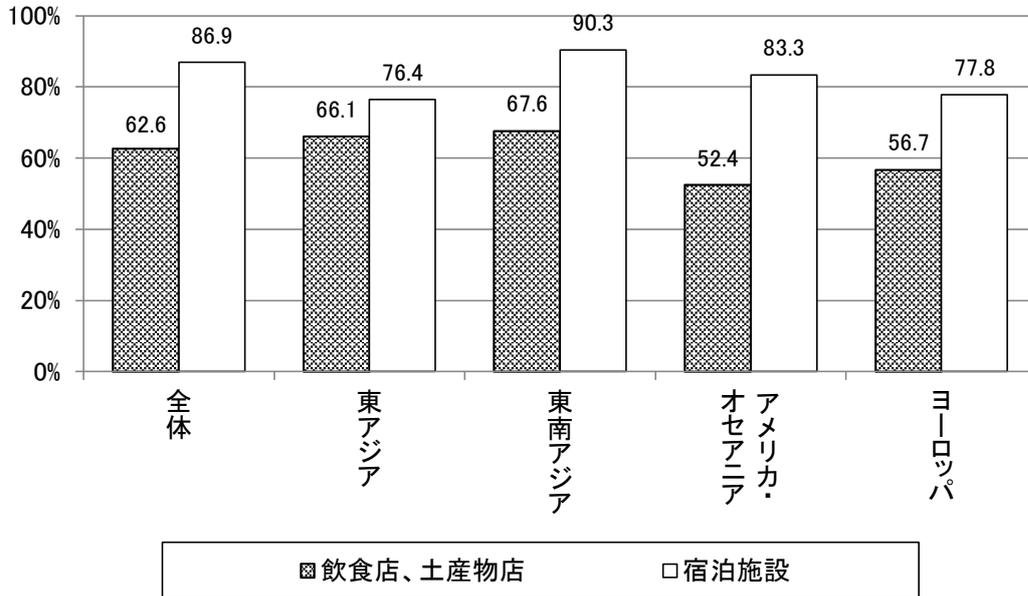
従業員/店員とのコミュニケーション（地域別）



電子マネー・クレジットカード等による決済では、宿泊施設の満足度が全体で 86.9%であるのに対し、飲食店、土産物店では 62.6%と低く、地域別にみると特にアメリカ・オセアニアでは 52.4%、ヨーロッパでは 56.7%と低くなっている。

無料公衆無線LANでは、宿泊施設の満足度が全体で 76.7%に対し、観光施設では 49.2%、飲食店、土産物店では 43.8%と低く、地域別にみると、特に東アジア、東南アジアでの満足度が低くなっている。

電子マネー・クレジットカード等による決済（地域別）



無料公衆無線 LAN（地域別）

